

**白井市第5次総合計画・都市マスタープラン策定
地区別ワークショップ 結果報告書**

平成27年6月

白井市 総務部 企画政策課、環境建設部 都市計画課

《開催概要》

開催日	会 場	参加人数
5月16日（土）	白井駅前センター	36
17日（日）	西白井複合センター	32
24日（日）	富士センター	14
30日（土）	公民センター	8
31日（日）	桜台センター	11
6月 6日（土）	白井コミュニティセンター	7

《内 容》

- 1 開 会
- 2 市長あいさつ
- 3 第5次総合計画基本構想（案）等の説明
- 4 ワークショップ

《テーマ》

「基本構想（案）に掲げた3つの重点戦略における具体的な取組みについて」

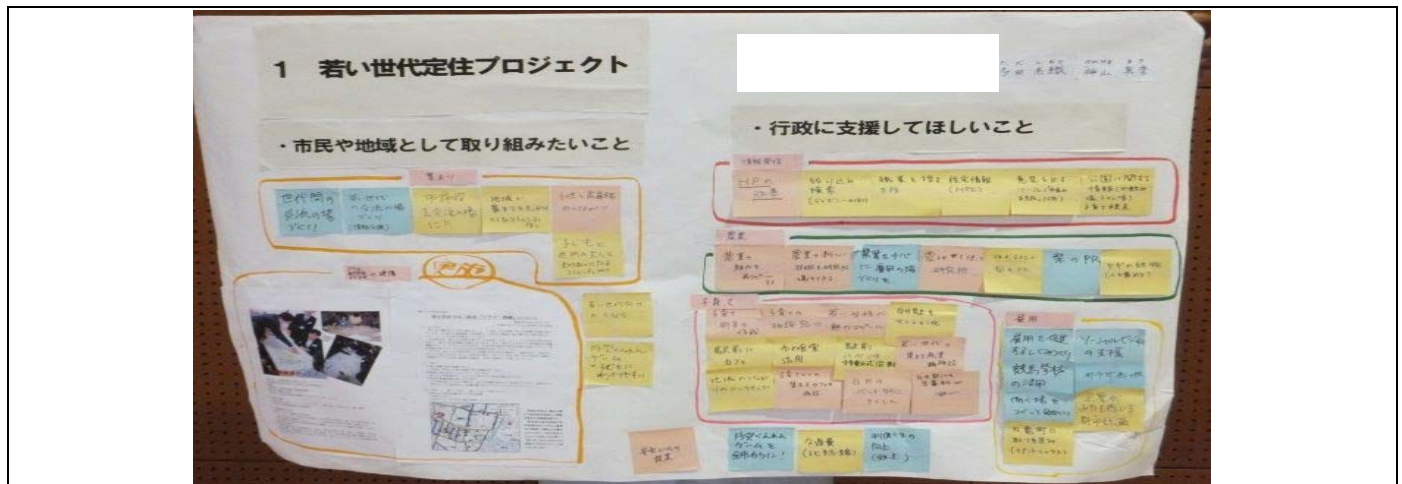
- ・市民や地域として取り組みたいこと
- ・行政に支援してほしいこと

- 5 閉 会



2015 年 5 月 16 日：白井駅前センター（南山小学校区・池の上小学校区）

若い世代定住プロジェクト（グループ 1_1）

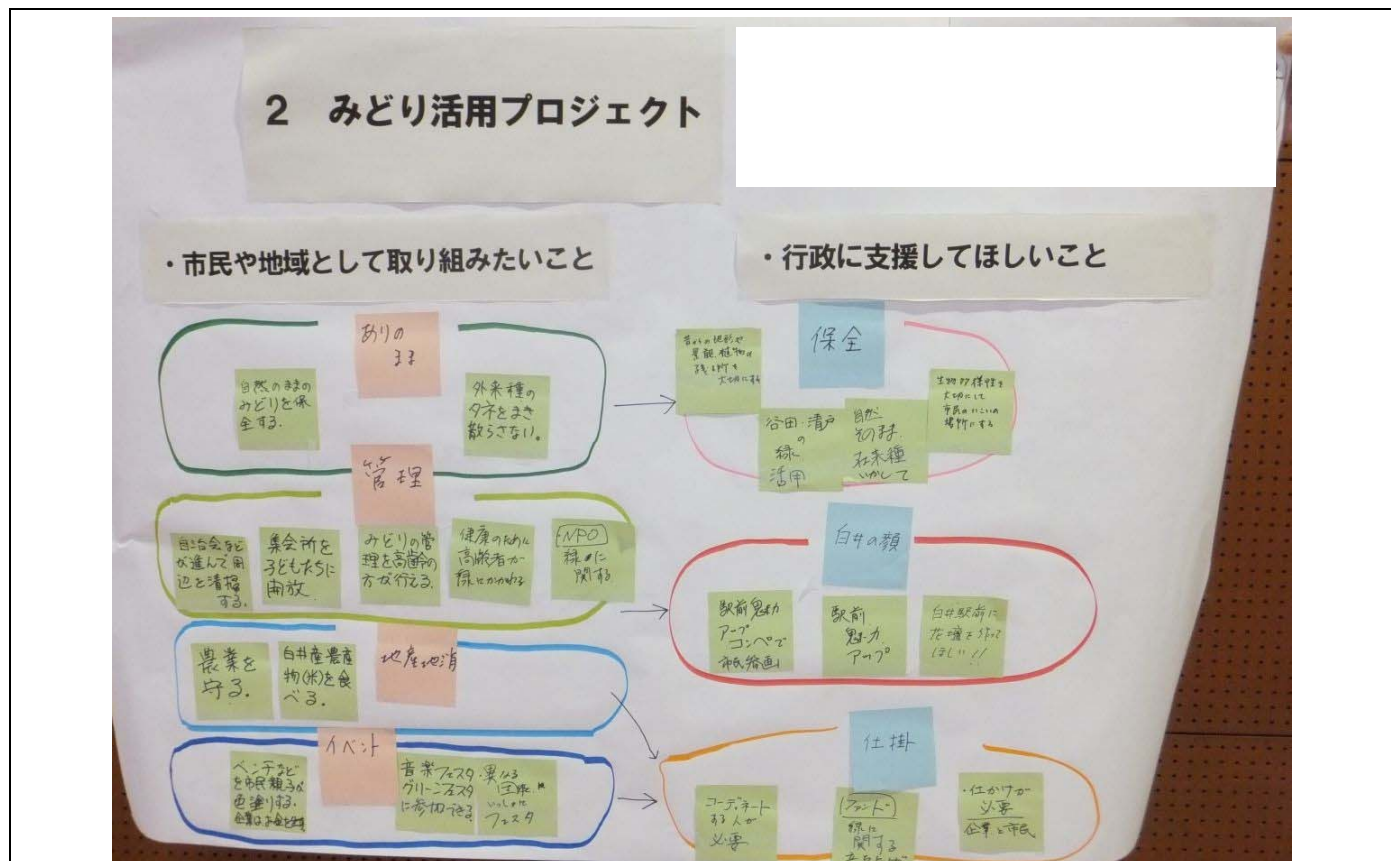


市民や地域として取り組みたいこと	行政に支援してほしいこと
【集まり】 ○世代間の交流の場づくり ○若い世代の交流の場づくり（情報交換） ○市施設を交流の場に！ ○地域で集まりをきっかけとしたコミュニティ作り ○子供と高齢者のつながり ○子供と近所の大人と知り合いになるコミュニティ作り 【PTA・自治会・行政の連携】 ○防災“リアル”訓練の実施 【その他】 ○若い世代向けの SNS ○防災訓練ゲーム（子供にわかりやすい）	【情報発信】 ○HP の改善 ○絞り込み検索（ディズニーの例） ○職業を探す手段 ○住宅情報（HP 上） ○意見を出すツール（「市長の手紙」以外） ○公園に関する情報（水飲場、トイレ等）子育て視点 【農業】 ○農業の魅力を再アピールする ○農業の新しい技術を研究する場を作る ○農業を中心に雇用の場づくりを ○農地を使って研究所 ○株式会社で梨を PR ○梨の PR ○ヤギの放牧（人を集める） 【子育て】 ○子育て冊子の作成 ○子育ての相談窓口 ○若い女性へ魅力をアピール ○白井駅をマンション化 ○駅前にカフェ ○市の食堂活用 ○駅前にベンチ、移動式店舗 ○若い世代の集まる商業施設 ○地域のつながりのバックアップ ○子育てママの集まるカフェや施設 ○白井のベッタタウン促進 ○白井駅にも耳鼻科が欲しい 【雇用】 ○雇用を促進する仕組みづくり ○ソーシャルビジネスの支援 ○競馬学校の活用 ○都市計画の PR ○働く場をつくって欲しい ○企業が魅力を感じる都市計画 ○丸亀町の取り組み（テナントミックス） 【その他】 ○安全レールの設置 ○防災訓練ゲームを全市的に！ ○交通費（北総線） ○利便性の向上（鉄道）



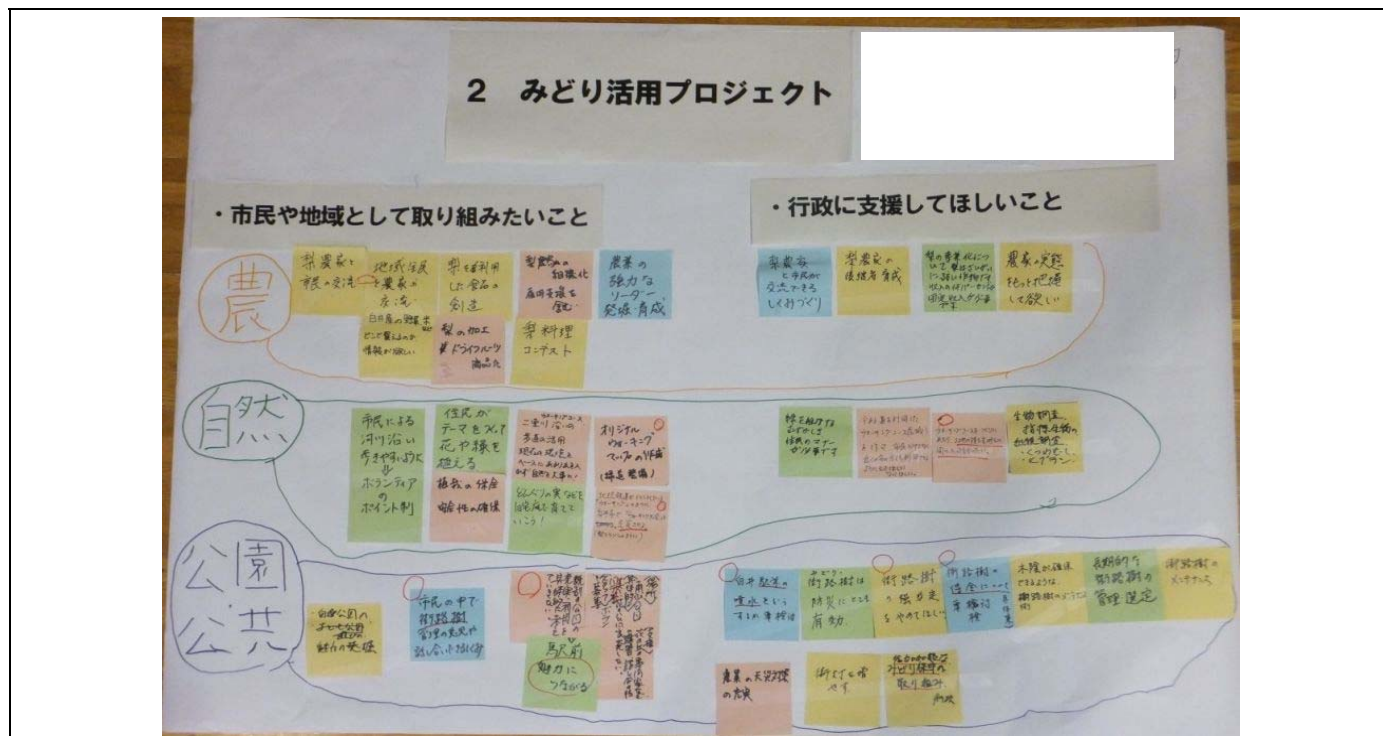
市民や地域として取り組みたいこと	行政に支援してほしいこと
【雇用】 ○市内で働ける仕事を増やす ○20 代、30 代の地元での仕事ができる ○仕事の選択肢が少ない ○職場を増やしてアピールする ○工場での農業生産 ○株式会社みらい 【医療】 ○小児科の充実、夜間休日の診療 ○混まない小児科が欲しい ○総合病院の充実 ○病院はどこに行ったらいいかわからない 【教育】 ○放課後月謝タダで勉強したい子供（中学生以上）をどうしたら（こっそり）集められるか。英語その他 ○学習支援ボランティアに人が来ない ○お話しボランティア（学生） ○ボランティア経験として教育の一貫 ○放課後に居場所のない子いらいしい ○若い母親がコミュニケーション取れるカフェ ○学園の誘致 【保育】 ○駅前には大きな保育園をつくる ○色々なメニューのある教育 ○空き家を提供してもらう ○保育時間も長い ○保育ママになってもらう ○家庭で保育を設ける ○私企業との協議	【交通】 ○東京や船橋、千葉等の近隣への移動を楽に ⇒コスト面、本数等 ○駅に近くて日用品を買える ○日用品の買い物が便利 ○バスを朝夕増やす ○バスをきめこまかくして欲しい ○北総線の運賃を下げる ○電車が安いならバスの利便性をもっと良く ○通学路が安全 ○道路を渡らないで学校に行ける ○共通施設での駐車場の増設⇒車中心の生活となっているため 【住宅】 ○賃料補助（独身、子持ち） ○浜田市では母子家庭をターゲットに ○母子家庭の引越に補助する ○空き家を町で借りる ○空き家を借りる人にお米をプレゼントする ○空き家の情報を管理⇒インターネット使って広報 ○若い世代への PR（住みやすさ）用の市としての情報コンテンツ作成 【公園】 ○花火が出来る公園 ○公園の管理が行き届いているか
両方に関係するもの	
○海外の成功例を参考にする ○外国人定住のまちづくり ○マスターズクラブ（スポーツ）の構築	

みどり活用プロジェクト（グループ 2_1）



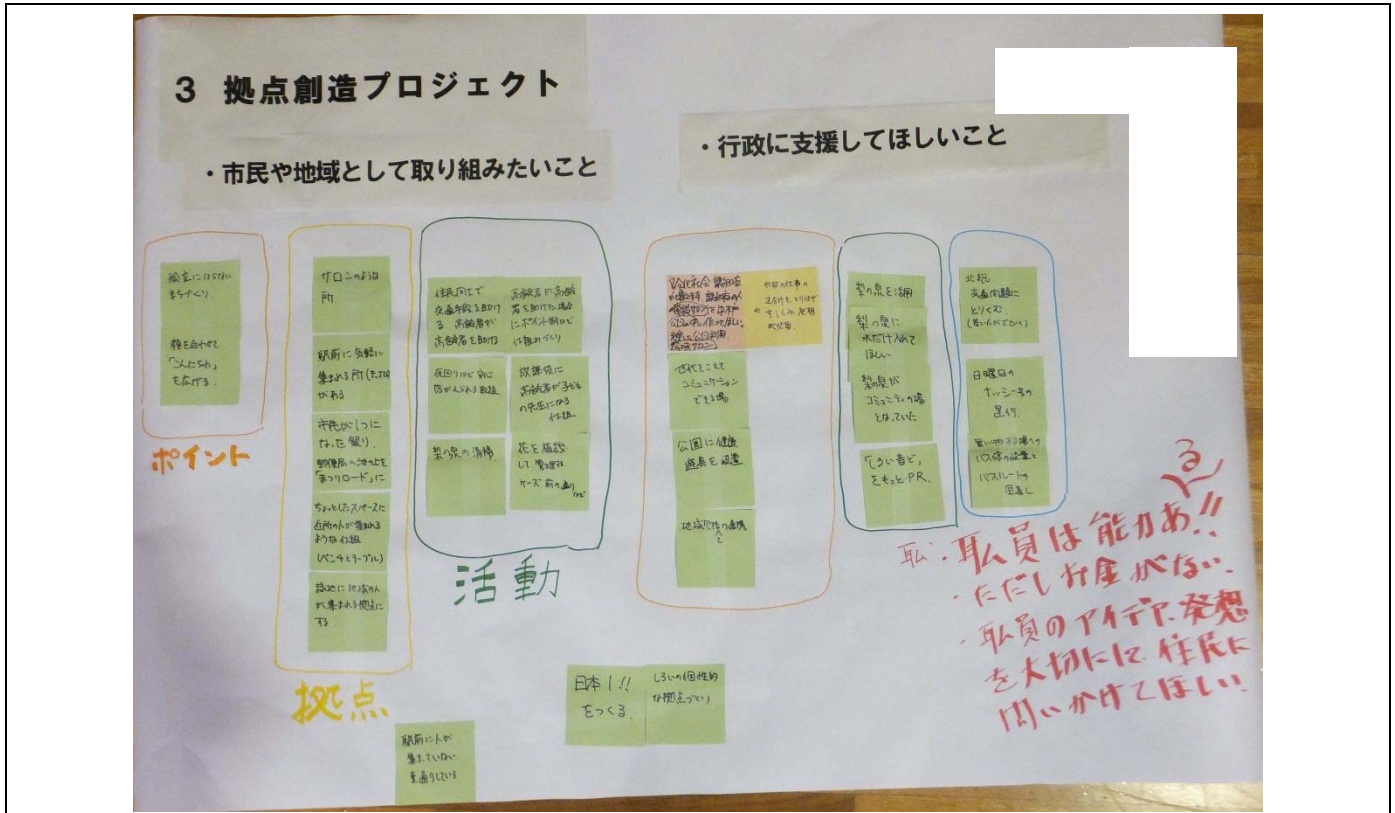
市民や地域として取り組みたいこと	行政に支援してほしいこと
【ありのまま】 ○自然のまものみどりを保全する ○外来種のタネをまき散らさない 【管理】 ○自治会などが進んで周辺を清掃する ○集会所を子供たちに開放 ○みどりの管理を高齢の方が行える ○健康のために高齢者が緑にかかわる ○NPO（緑に関する） 【地産地消】 ○農業を守る ○白井産農産物（米）を食べる 【イベント】 ○ベンチなど市民親子が色塗りする、企業は金を出す ○音楽フェスタ、グリーンフェスタに参加できる ○異なる団体と一緒にフェスタ	【保全】 ○昔からの地形や景観、植物の残る所を大切にする ○谷田、清戸の緑を活用 ○自然そのまま在来種活かして ○生物多様性を活かして市民の憩いの場所にする 【白井の顔】 ○駅前魅力アップ⇒コンペで市民参画 ○駅前魅力アップ ○白井駅前に花壇を作って欲しい 【仕掛】 ○コーディネートする人が必要 ○ファンド⇒緑に関する立上げ ○仕掛が必要⇒企業と市民

みどり活用プロジェクト（グループ 2_2）



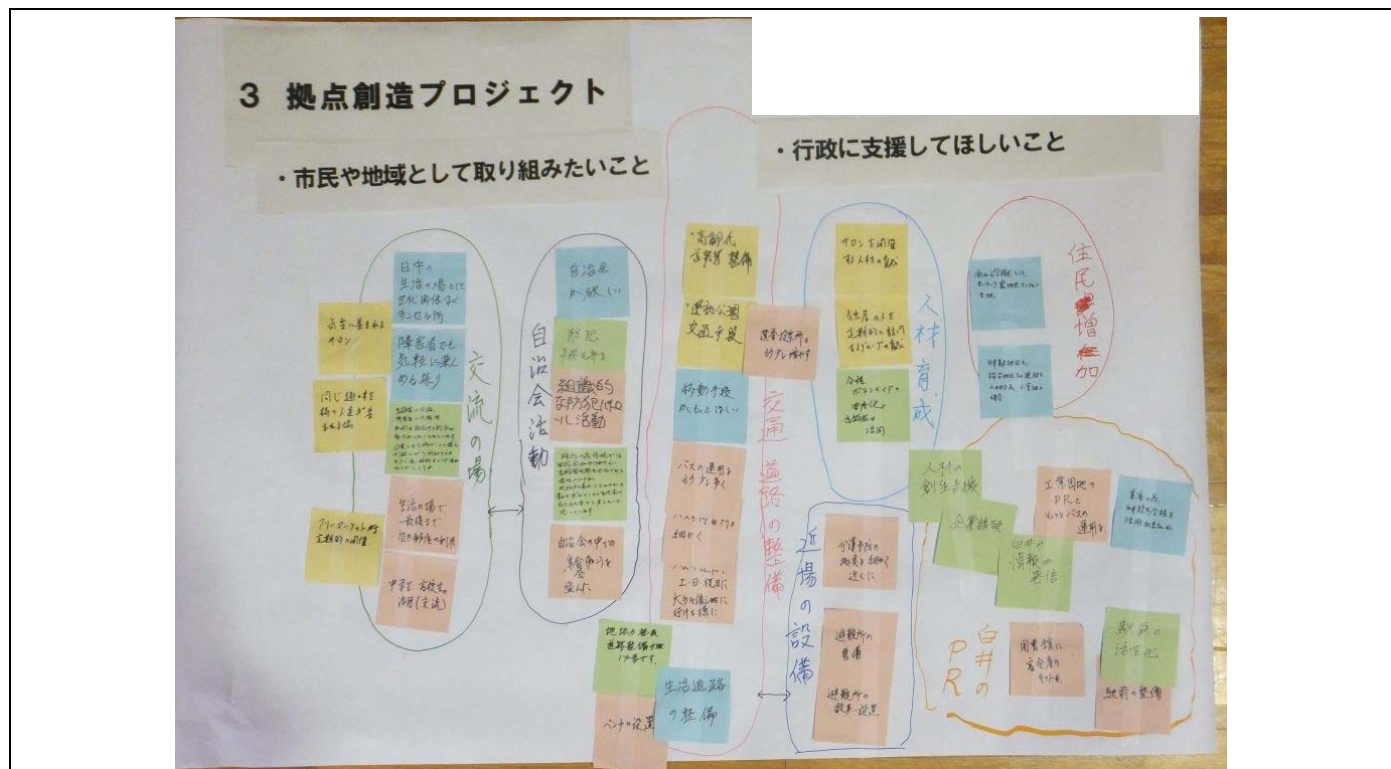
市民や地域として取り組みたいこと	行政に支援してほしいこと
【農】 ○梨農家と市民の交流 ○地域住民と農家の交流 ○梨を利用した食品の創造 ○梨の加工⇒ドライフルーツの商品化 ○梨農家の組織化⇒雇用支援を含む ○梨料理コンテスト ○農業の強力なリーダー発掘・育成 ○白井産の野菜、米などどこで買えるのか情報が欲しい 【自然】 ○市民による河川沿い歩きやすいように⇒ボランティアのポイント制 ○住民がテーマをつくって花や緑を植える ○植栽の保全、安全性の確保 ○二重川沿い（ウォーキングコース）の歩道の活用 現在の環境をベースにあまり手を入れず自然を大切に！ ○どんぐりの実などを自宅庭で育てていこう！ ○オリジナルウォーキングマップの作成（緑道整備） ○北総鉄道がしているウォーキングイベントのように白井市で「ウォーキング大会」を充実させる（梨マラソンのように） 【公園・公共】 ○自然公園の魅力発掘 ○市民の中で街路樹管理の意志や話し合い出来る仕組み ○既成の公園の充実、利用を具体的に考えていきたい⇒駅前魅力につながる ○南山公園を美しく花の公園に（バラ等）、ボランティアスタッフを募集する。花の丘の専門家などの講習、話し合いの後出発したい	【農】 ○梨農家と市民が交流できる仕組みづくり ○梨農家の後継者育成 ○梨の専門化について⇒梨は災害に弱い作物です。収入の何パーセントか固定収入が必要です ○農家の実態をもっと把握してほしい 【自然】 ○緑を維持する難しさ、住民のマナーが必要です ○今ある道を利用したウォーキングコース（広域）を作って、市民だけでなく近くの市の方も利用できるように作って欲しい ○ウォーキングコースを作るにあたって、土地の持ち主の方との間に入ってもらいたい ○生物調査、指標生物の継続調査 クツワムシ、ヒグラシ 【公園・公共】 ○白井駅前の噴水をどうするか要検討 ○みどり、街路樹は防災にとっても有効 ○街路樹の強剪定をやめてほしい ○街路樹の保全について要検討（具体策） ○木陰が確保できるような街路樹のメンテナンス ○長期的な街路樹の管理、選定 ○街路樹のメンテナンス ○農業の天災対策の充実 ○街灯を増やす ○参加可能なみどり保守の取り組み、行政

拠点創造プロジェクト（グループ3_1）



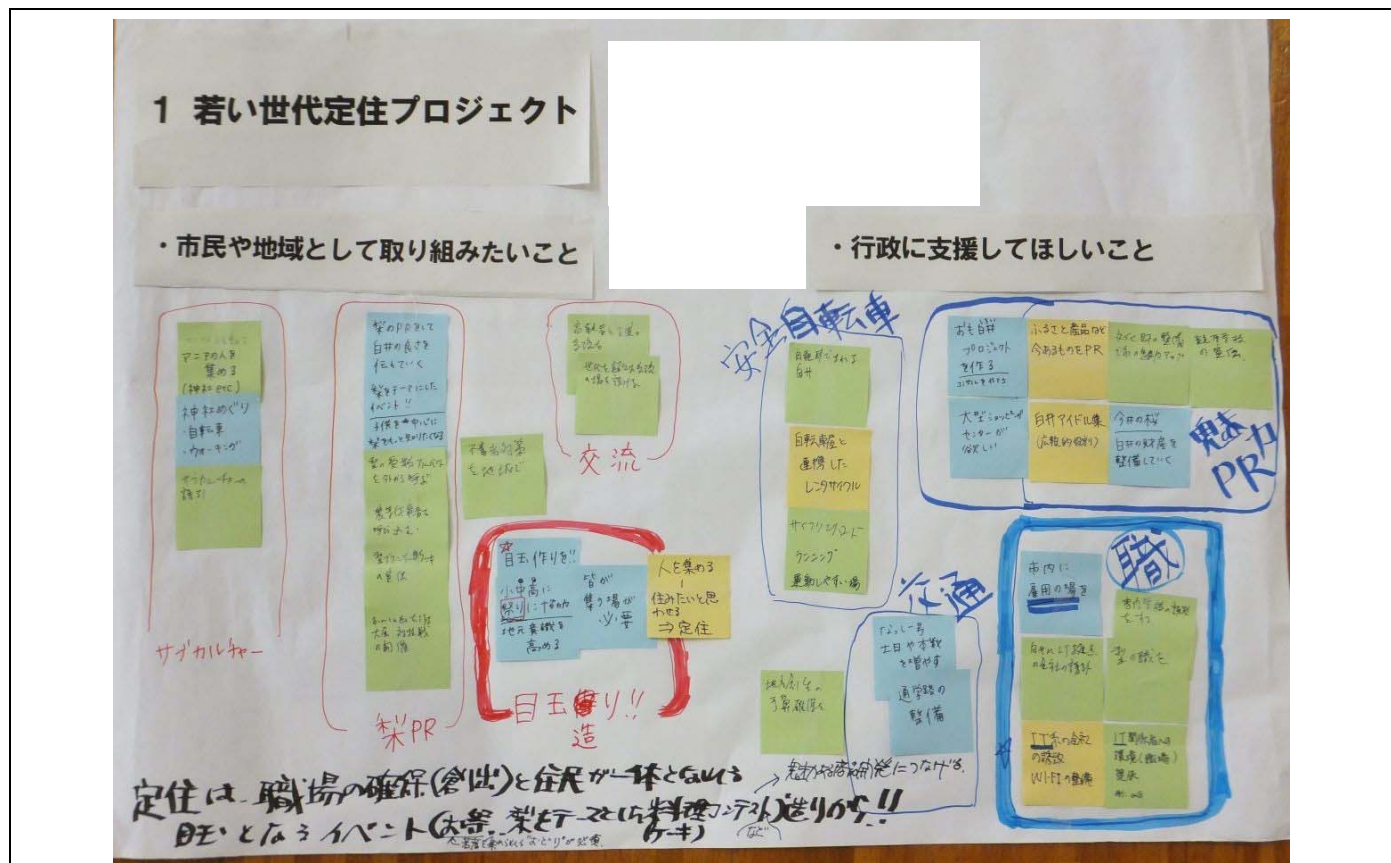
市民や地域として取り組みたいこと	行政に支援してほしいこと
【ポイント】 ○孤立にならないまちづくり ○顔を合わせて「こんにちは」を広げる 【拠点】 ○サロンのような所 ○駅前に気軽に集まれる所（喫茶店）がある ○市民が1つになった祭り 郵便局～池の上を「まつりロード」に ○ちょっとしたスペースに近所の人が集まれるような仕組み（ベンチとテーブル） ○緑地に地域の人が集まれる拠点にする 【活動】 ○住民同士で交通手段を助ける、高齢者が高齢者を助ける ○高齢者が高齢者を助けた場合にポイント制などの仕組みづくり ○夜回りなど安心感が得られる取組 ○放課後に高齢者が子供の先生になる仕組み ○梨の泉の清掃 ○花を植栽して管理する、ケース前の通りなど	○高齢化社会、認知症が増えます、認知症の人の常設サロンを中木戸公園の中に作って欲しい ○充実した公園利用、広域サロン ○行政の仕事の区分けを取り外す仕組み、発想が必要 ○世代を超えてコミュニケーションできる場 ○公園に健康遊具を設置 ○地域包括との連携 ○梨の泉を活用 ○梨の泉に水だけ入れて欲しい ○梨の泉がコミュニティの場となっていた ○「しろい音頭」をもっとPR ○北総交通問題に取り組む（若い人が出ていく） ○日曜日のナッシー号の運行 ○買物する場へのバス停の設置とバスルートの見直し
その他	
○駅前に人が集まっていない、素通りしている ○日本一!!をつくる ○しろいの個性的な拠点づくり ○職員は能力がある！ただしお金が無い。職員のアイディア、発想を大切にして、住民に問いかけて欲しい	

拠点創造プロジェクト（グループ3_2）

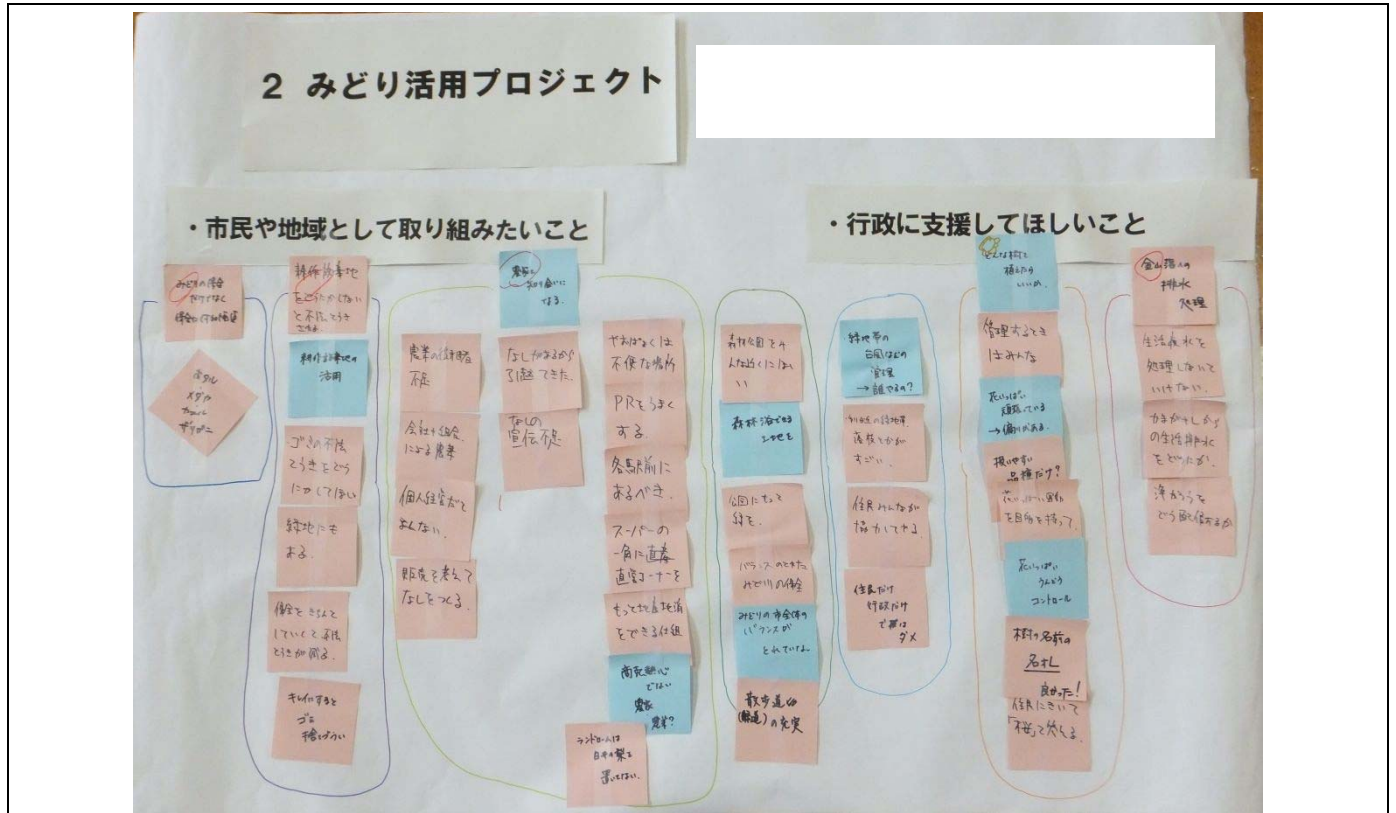


市民や地域として取り組みたいこと	行政に支援してほしいこと
【交流の場】 ○日中の生活の場として世代関係なく過ごせる所 ○気楽に集まれるサロン ○障害者でも気軽に楽しめる祭り ○同じ趣味を持つ人たちが集まれる場 ○高齢者の問題、障害者の問題等、民間が依存する割合が大きくなってきています 公共と言う場でこの様な問題にどう対応するかも一度検討する必要があるのでしょうか ○生活の場で最後まで 空き部屋の利用 ○フリーマーケットを定期的に開催 ○中学生、高校生の活用（交流） 【自治会活動】 ○自治会が欲しい ○防犯子供を守る ○組織的な防犯パトロール活動 ○現在の居住地では自治会がありません 高齢者世帯もかなりある様なのですが、地域社会のコミュニティの最小単位としての自治会の在り方も含めて考えたいと思っています ○自治会の中での集会（サロン）を盛んに	【交通・道路の整備】 ○高齢化、道路等整備 ○運動公園、交通手段 ○移動手段がもっとほしい ○バスの運用をもう少し多く ○バスの停留所を細かく ○バスの運用を土日祝日に大きな催しに行けるように ○地域の発展 道路整備が必要です ○ベンチの設置 ○生活道路の整備 ○選挙投票所をもう少し増やす 【近場の設備】 ○介護予防の拠点を細かく近くに ○避難所の整備 ○避難所の数多い設置 【人材育成】 ○サロンを開催する人材の育成 ○独居の人を定期的に訪問するグループの育成 ○介護ボランティアの資産化、高齢者の活用 ○人材の創生支援 【住民増加】 ○南山小学校区としてホームック裏地区マンション立地 ○白井駅地区と桜台地区との連携を深めるため、小室地の併合 【白井のPR】 ○企業誘致 ○白井情報発信 ○工業団地のPR とともにバスの運用を ○集客の為白井競馬学校を活用出来ないか ○駅前活性化 ○駅前の整備 ○図書館に高齢者のキットを

2015 年 5 月 17 日：西白井複合センター（大山口小学校区・清水口小学校区・七次台小学校区）
若い世代定住プロジェクト（グループ 1）



市民や地域として取り組みたいこと	行政に支援してほしいこと
【サブカルチャー】 ○マニアの人を集める（神社 etc） ○神社めぐり（自転車、ウォーキング） ○サブカルチャーの誘引 【梨 PR】 ○梨の PR をして白井の良さを伝えていく ○梨をテーマにしたイベント！ ○子供を中心に梨をもっと知りたくなる ○梨の受粉アルバイトを外から呼ぶ ○農業従事者を呼び込む ○梨ブランデー、クッキーの宣伝 ○おいしいものを作る大会、対抗戦の開催 【交流】 ○高齢者と子供の交流を ○世代を超えた場を設ける 【目玉作り！！】 ○目玉作りを！！ ○小中高に祭りに協力、地元意識を高める ○みんなが集う場が必要 ○人を集める→住みたいと思わせる⇒定住 【その他】 ○不審者対策を地域で	【安全自転車】 ○自転車でもわる白井 ○自転車屋と連携したレンタサイクル ○サイクリングロード、ランニング、運動しやすい場 【魅力 PR】 ○おも白井プロジェクトを作る、コンサルを雇う ○大型ショッピングセンターが欲しい ○ふるさと商品など今あるものを PR ○白井アイドル集（広報的役割） ○文化財の整備で市の魅力アップ ○競馬学校の宣伝 ○今井の桜、白井の財産を整備していく 【交通】 ○ナッシー号、土日や本数を増やす ○通学路の整備 【職】 ○市内に雇用の場を ○専門学校の誘致をする ○梨の職を ○白井に IT 拠点の会社の誘致 ○IT 系の会社の誘致、Wi-Fi の整備 ○IT 関係者への環境（職場）提供、（例：Wi-Fi）
両方に関係するもの	
○定住は職場の確保（創出）と住民が一体となる目玉となるイベント（お祭り（若者を集められる“おどり”が必須）、梨をテーマとした料理（ケーキ）コンテストなど、）造りから！！ 魅力ある商品開発につなげる	

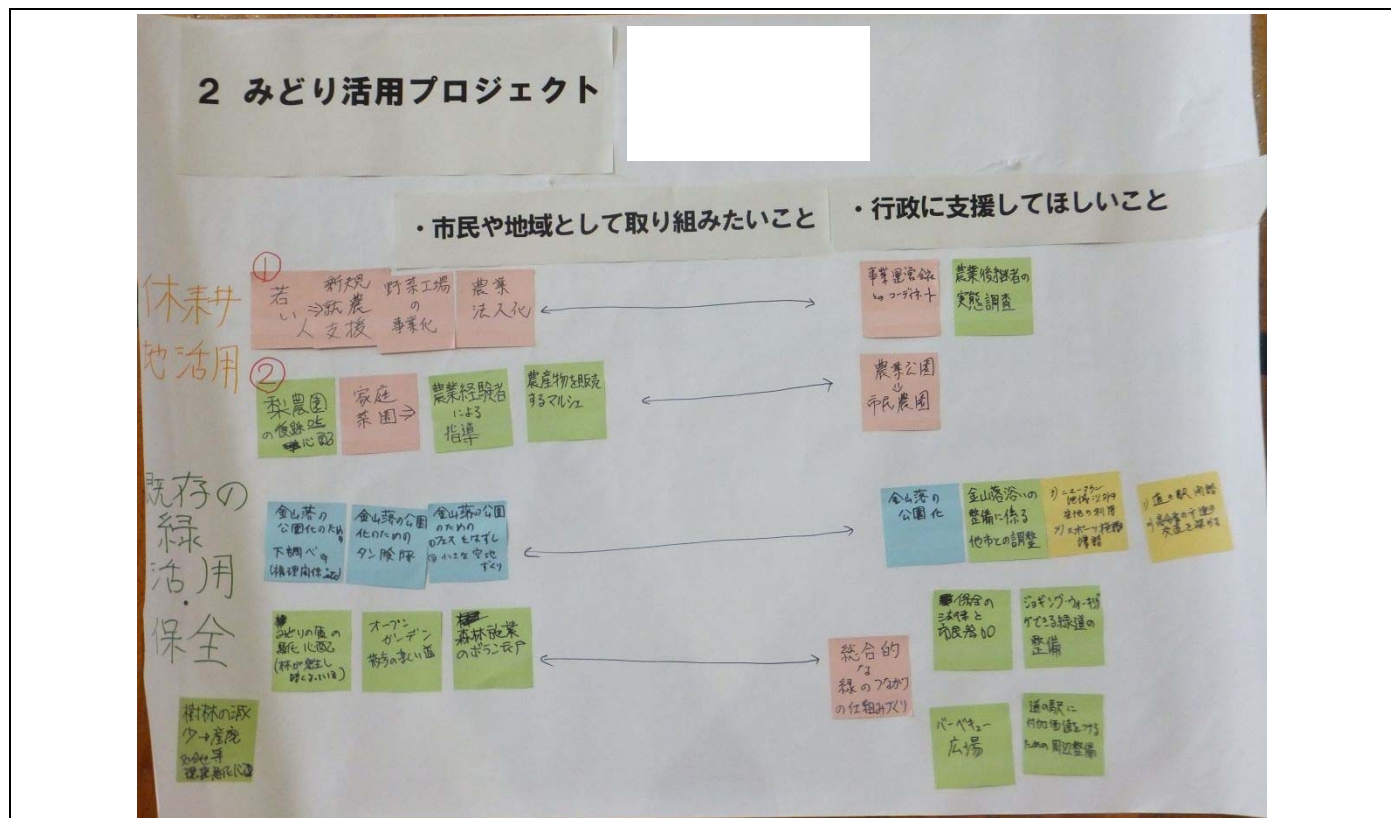


両方に関係すること

- 【みどりの保全だけでなく、保全に付加価値】
- ホテル、メダカ、カエル、ザリガニ
- 【耕作放棄地をどうにかしないと不法投棄される】
- 耕作放棄地の活用
 - ゴミの不法投棄をどうにかしてほしい
 - 緑地にもある
 - 保全をきちんとしていくと、不法投棄が減る
 - キレイにするとゴミ捨てづらい
- 【農家と知り合いになる】
- 農業の後継者不足
 - 会社+組合による農業
 - 個人経営だと良くない
 - 販売を考えて梨を作る
 - 梨があるから引っ越してきた
 - 梨の宣伝不足
 - 「やおばあく」は不便な場所
 - PRを上手くする
 - 各駅前にあるべき
 - スーパーの一角に直営コーナーを
 - もっと地産地消出来る仕組み
 - 商売熱心でない農家、農業？
 - ランドロームは白井の梨を置いてない

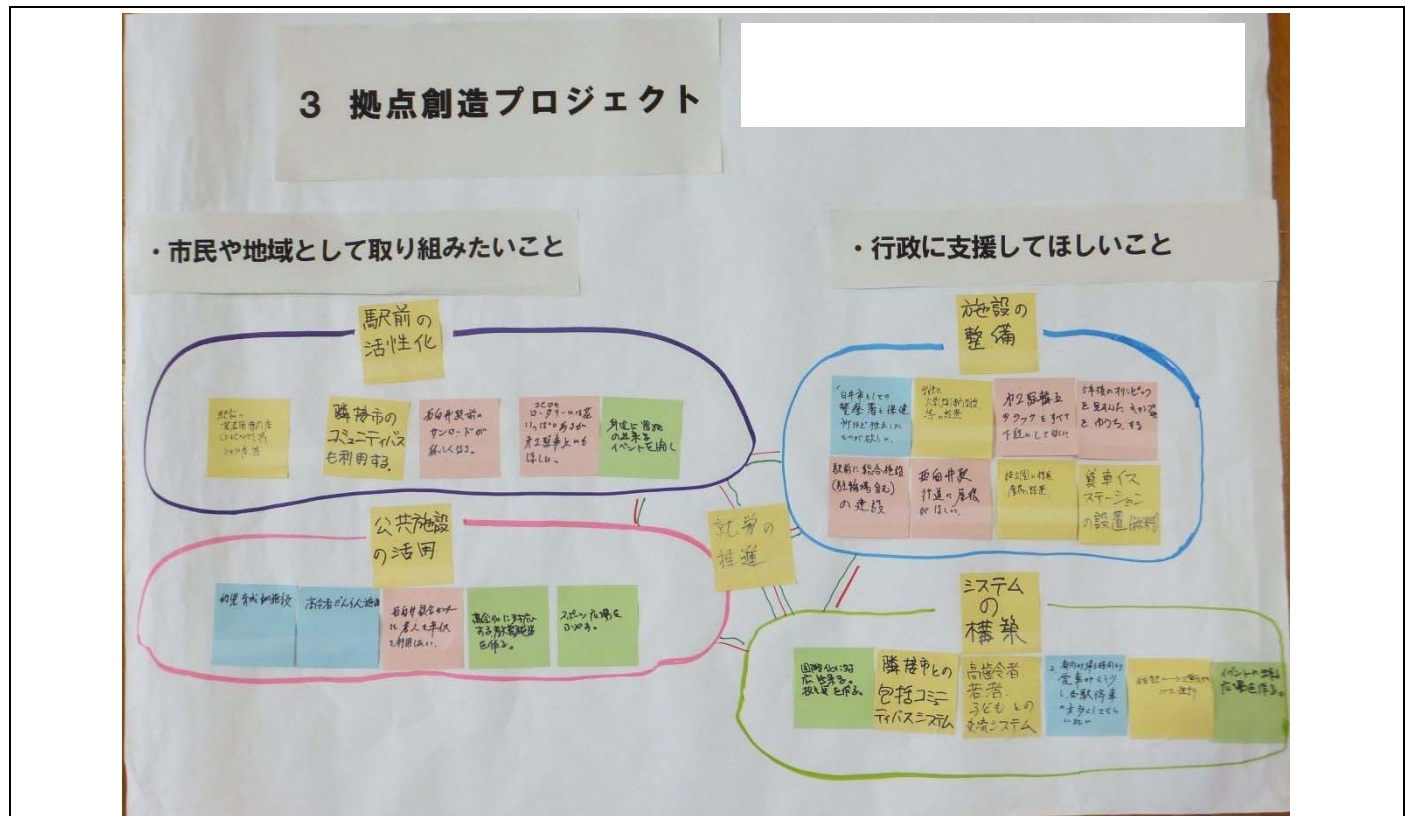
- 森林公園をみんな近くに欲しい
 - 森林浴出来る土地を
 - 公園にもっと緑を
 - バランスのとれたみどりの保全
 - みどりの市全体のバランスがとれていない
 - 散歩道（緑道）の充実
- 緑地帯の台風などの管理⇒誰やるの？
 - ゆりが丘の緑地帯、落枝とかがすごい
 - 住民みんなが協力してやる
 - 住民だけ、行政だけではダメ
- 【どんな樹を植えたらいいか】
- 管理する時はみんな
 - 花いっぱい頑張っている⇒偏りがある
 - 扱いやすい品種だけ？
 - 花いっぱい運動を目的を持って
 - 花いっぱい運動コントロール
 - 樹の名前の名札、良かった！
 - 住民にきいて、「桜」と答える
- 【金山落への排水処理】
- 生活排水を処理しないといけない
 - 鎌ヶ谷市からの生活排水をどうにか
 - 浄化槽をどう配備するか

2015年5月17日：西白井複合センター（大山口小学校区・清水口小学校区・七次台小学校区）
みどり活用プロジェクト（グループ2_2）



市民や地域として取り組みたいこと	行政に支援してほしいこと
【休耕地活用】 ① ○若い人⇒新規就農支援 ○野菜工場の事業化 ○農業法人化 ② ○梨農園の後継 ok 心配 ○家庭菜園⇒農業経験者による指導 ○農産物を販売するマルシェ 【既存の緑活用・保全】 ○金山落の公園化のための下調べ（権利関係 etc） ○金山落の公園化のための探検隊 ○金山落の公園化のための①フェンスをはずし、②小さな空地づくり ○みどりの質の悪化が心配（林が密生し暗くなっている） ○オープンガーデン 散歩の楽しい道 ○森林施業のボランティア	【休耕地活用】 ① ○事業運営会社とのコーディネート ○農業後継者の実態調査 ② ○農業公園⇒市民農園 【既存の緑活用・保全】 ○金山落の公園化 ○金山落沿いの整備に関わる他市との調整 ○ニュータウン地域以外の空地の利用 ○スポーツ施設の増設 ○道の駅開設 ○高齢者の方たちの交流を深める ○総合的な緑のつながりの仕組みづくり ○保全の法律と市民参加 ○ジョギング・ウォーキング出来る緑道の整備 ○バーベキュー広場 ○道の駅に付加価値を付けるための周辺整備
その他	
○樹林の減少⇒産廃処分地等環境悪化心配	

2015 年 5 月 17 日：西白井複合センター（大山口小学校区・清水口小学校区・七次台小学校区）
拠点創造プロジェクト（グループ 3_1）



目指す目標

○就労の促進

両方に共通すること

【駅前の活性化】

- 駅前に若者用専門店（ショッピング）等、ショップ店等
- 隣接市のコミュニティバスも利用する
- 西白井駅前のサンロードが淋しくなる
- 北口ロータリーには花がいっぱいあるが、第二駐車場にも欲しい
- 身近に買物の出来るイベントを開く

【公共施設の活用】

- 幼児育成施設
- 高齢者だんらん施設
- 西白井複合センターを老人が車いすで利用したい
- 高齢化に対応する教育施設を作る
- スポーツ広場を増やす

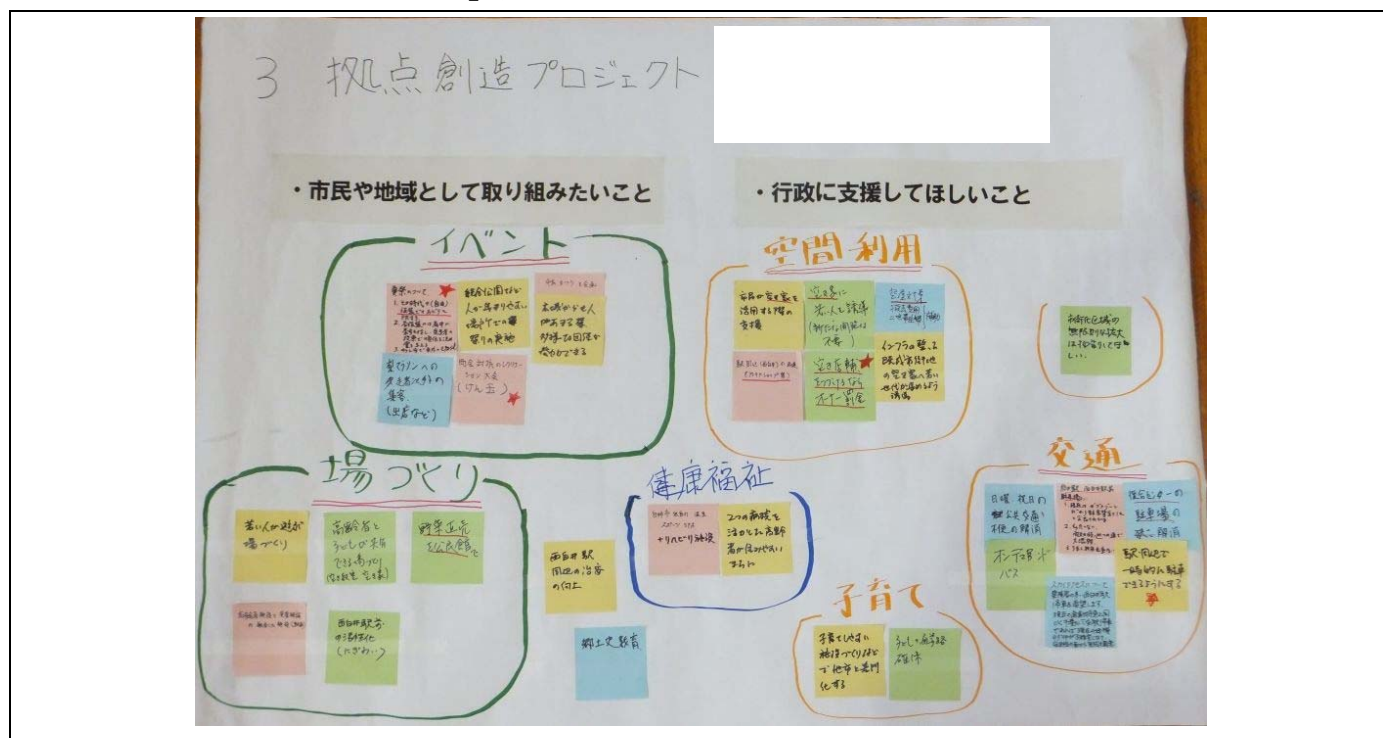
【施設の整備】

- 白井市としての警察署と保健所など独立したものが欲しい
- 学校区大学（短）専門学校等の設置
- 第二駐輪場のラックを全て下段にして欲しい
- 5年後のオリンピックを見据えたキャンプ他を誘致
- 駅前に総合施設（駐輪場含む）の建設
- 西白井駅行道に屋根が欲しい
- 総合公園に遊具、屋根が欲しい
- 貸車椅子ステーションの設置（無料）

【システムの構築】

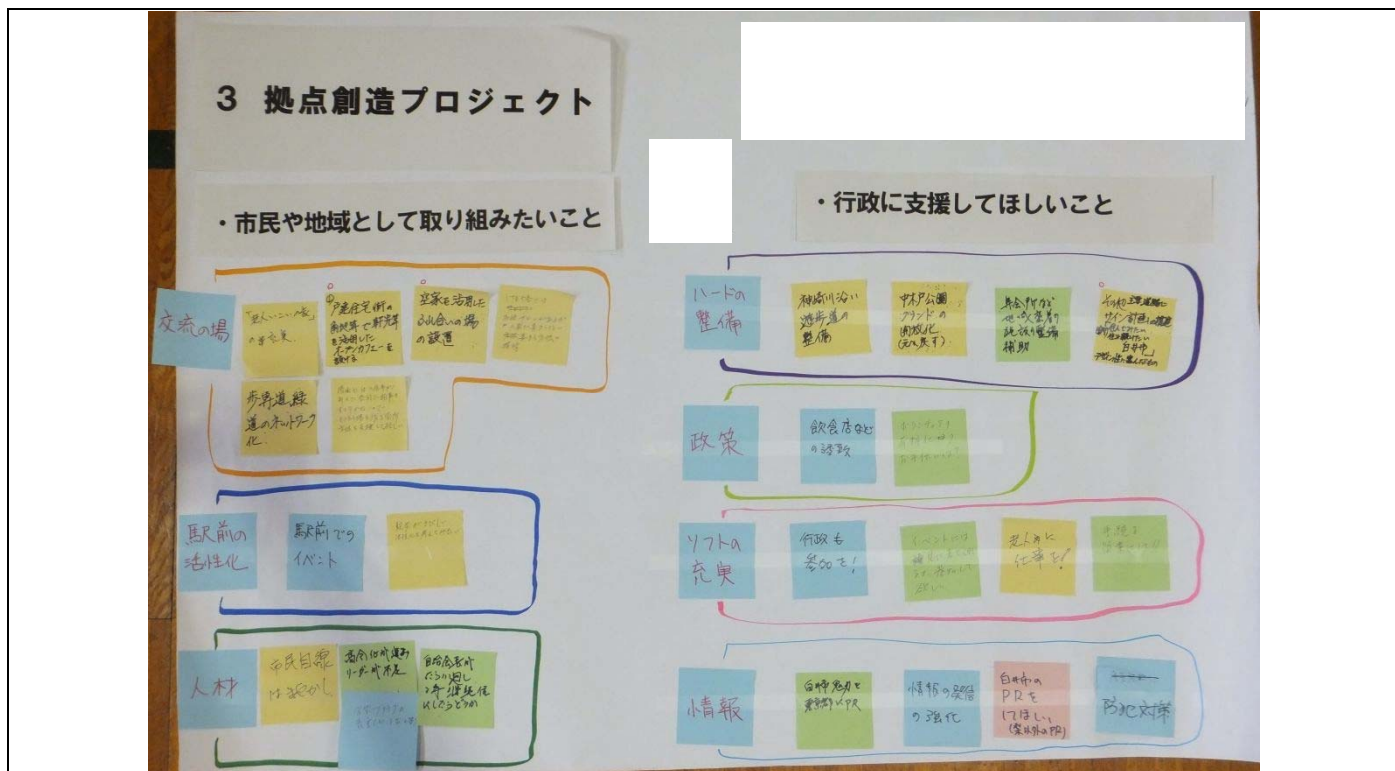
- 国際化に対応できる拠点を作る
- 隣接市との包括コミュニティバスシステム
- 高齢者若者、子供との交流システム
- 都内より帰る時間、電車がもう少し各駅停車の方を多くしてもらいたい
- 西白井駅⇄工業団地バス運行
- イベントの出来る広場を作る

2015年5月17日：西白井複合センター（大山口小学校区・清水口小学校区・七次台小学校区）
拠点創造プロジェクト（グループ3_2）

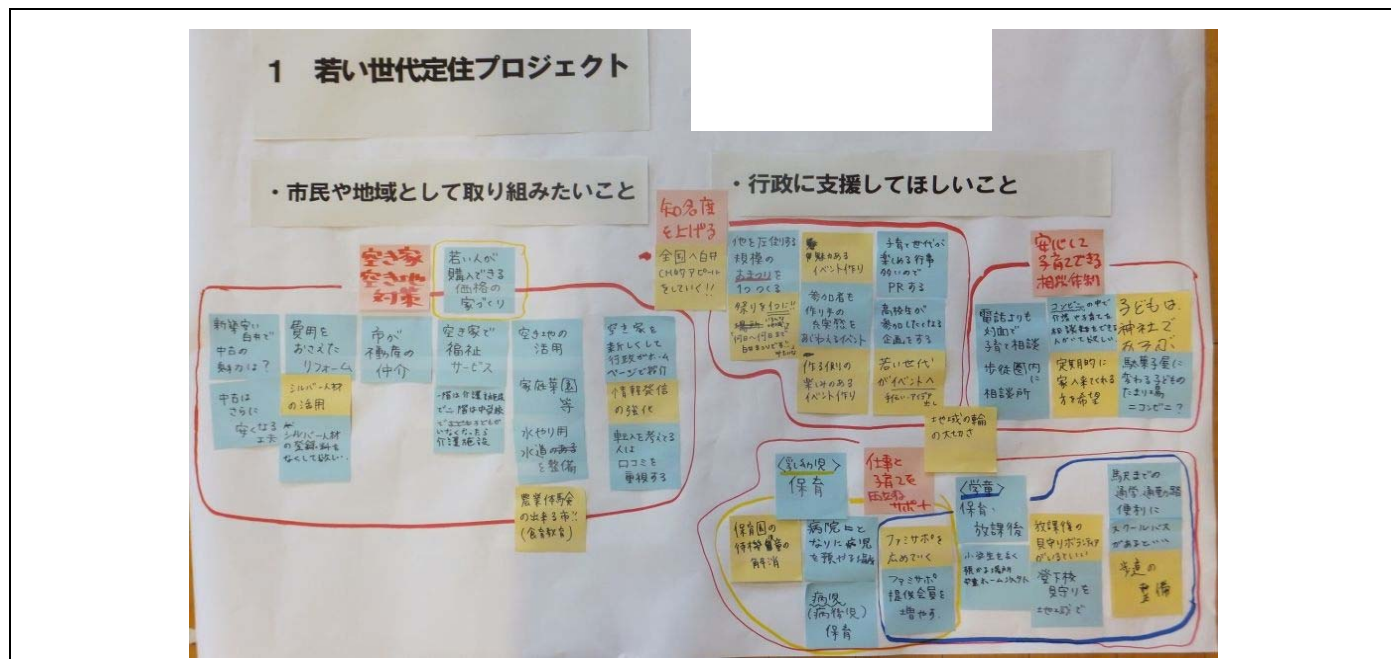


市民や地域として取り組みたいこと	行政に支援してほしいこと
【イベント】 ○夏祭りについて 1) その時代の（自由）仮装でのおどりをPRする 2) 各仮装には背中に背番号を付し、見学者の投票で順位を決め賞を与える 3) チラシ等で市外にも知らせる ○総合公園など人が集まりやすい場所での祭りの実施 ○市民祭りを企画 ○広域からも人があつまる祭り、多様な団体が参加できる ○梨マラソンの走者以外の集客（出店など） ○町会対抗のレクリエーション大会（けん玉） 【場づくり】 ○若い人が遊ぶ場づくり ○高齢者と子供が共有できる場づくり（空き教室、空き家） ○野菜直売を公民館で ○高齢者施設と児童施設の融合した施設（駅前） ○西白井駅の活性化（にぎわい）	【空間利用】 ○市民が空き家を活用する際の支援 ○空き家に若い人を誘導（新たな開発は不要） ○空き家対策、撤去費用補助、二世帯住宅補助 ○空き店舗を続けるならオーナー罰金 ○駅周辺（西白井）の再建（アンテナショップ等） ○インフラの整った既成市街地の空き家へ若い世代が集めるよう誘導 【健康福祉】 ○白井市独自の温泉、スポーツ、SPA+リハビリ施設 ○2つの病院を活かした高齢者が住みやすいまちに 【子育て】 ○子育てしやすい施設づくりなどで他市と差別化する ○子供の通学路確保 【交通】 ○駅周辺で一時的に駐車できるようにする ○日曜祝日の公共交通不便の解消 ○白井駅、西白井駅前駐車場 1) 現在はゼブラゾーンだから駐車禁止としたと公表されている 2) もったいない、雨天の時迎えの車で大混雑 3) うまく利用できないか ○複合センターの駐車場の狭さ解消 ○オンデマンドバス ○スカイアクセスについて、乗降者の多い西白井駅停車を要望します - 現在の通勤特急と同じく千葉NT全駅停車であれば現在4種類のダイヤが3種類となり、安全性の面から京成も同意 【その他】 ○市街化区域の無原則な拡大は抑制してほしい
両方に関係するもの	
○西白井駅周辺の治安の向上 ○郷土史教育	

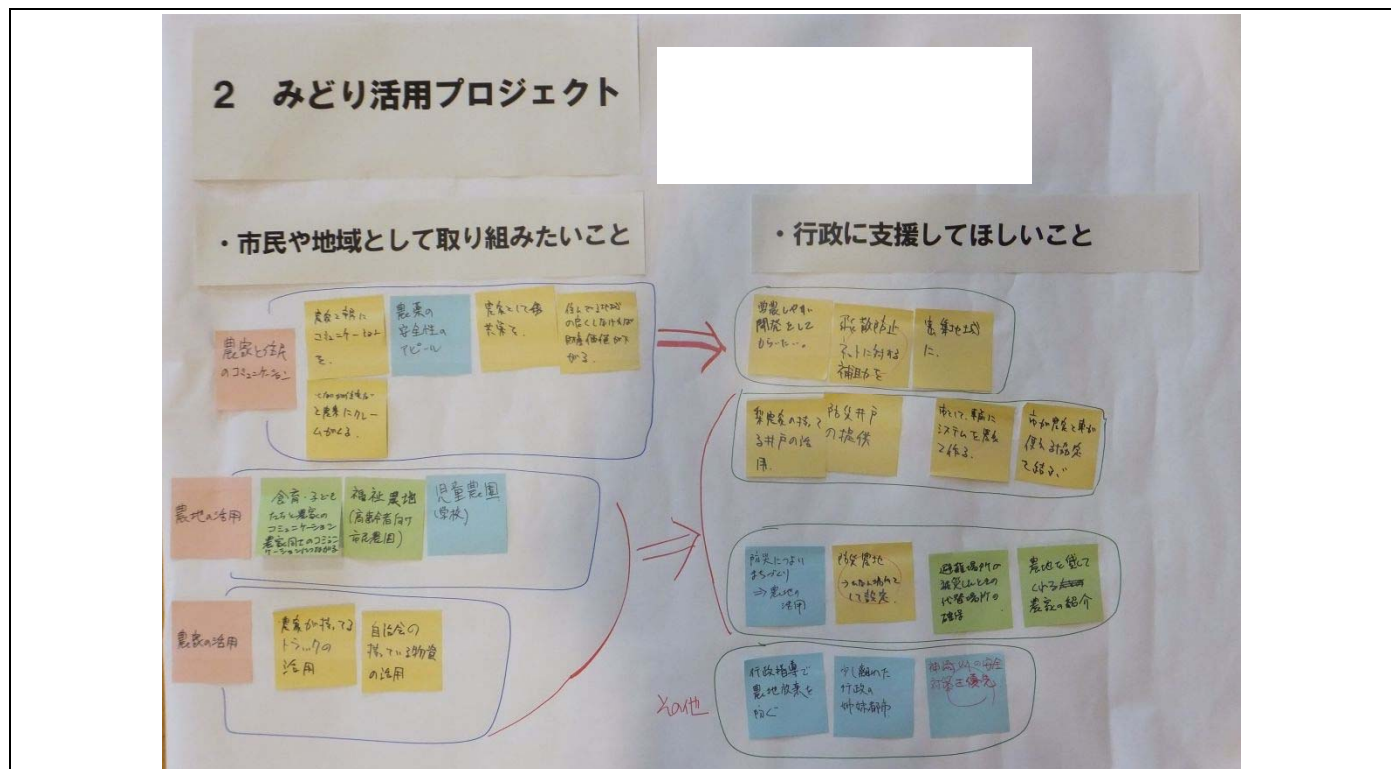
2015年5月17日：西白井複合センター（大山口小学校区・清水口小学校区・七次台小学校区）
拠点創造プロジェクト（グループ3_3）



市民や地域として取り組みたいこと	行政に支援してほしいこと
【交流の場】 ○「老人いこいの家」の充実 ○戸建住宅街の角地等で軒先などを活用したオープンカフェを設ける ○空き家を活用したふれあいの場の設置 ○1丁目5番はお店サロンがあるが、人が集まらない集まる方法検討 ○歩道緑道のネットワーク化 ○清水口は入居率が別々で合同で物事をする事がないので、そういう場をつくる場所、方法を支援して欲しい 【駅前前の活性化】 ○駅前でのイベント ○駅前がさびしい、活性化を考えてみたい 【人材】 ○市民目線はまやかし ○高齢化が進み、リーダーが不足 ○自治会長がたらひ廻しな事。継続制にしたらどうか ○スポーツクラブの充実（ゲートボールなど）	【ハードの整備】 ○神崎川沿い遊歩道の整備 ○中木戸公園のグランド開放化（元へ戻す） ○集会所など地域密着の施設の整備補助 ○その他主要道路にサイン計画の推進 例）「住んでみたい、住み続けたい、白井市」デザイン性に富んだもの 【政策】 ○飲食店などの誘致 ○ボランティアの有料化のお手伝いは？ 【ソフトの充実】 ○行政も参加を！ ○イベントには見に来てくれるが、参加して欲しい ○老人に仕事を！ ○手続きを簡素にして！！ 【情報】 ○白井市魅力を東京都にPR ○情報発信の強化 ○白井市のPRをして欲しい（梨以外のPR） ○防犯対策

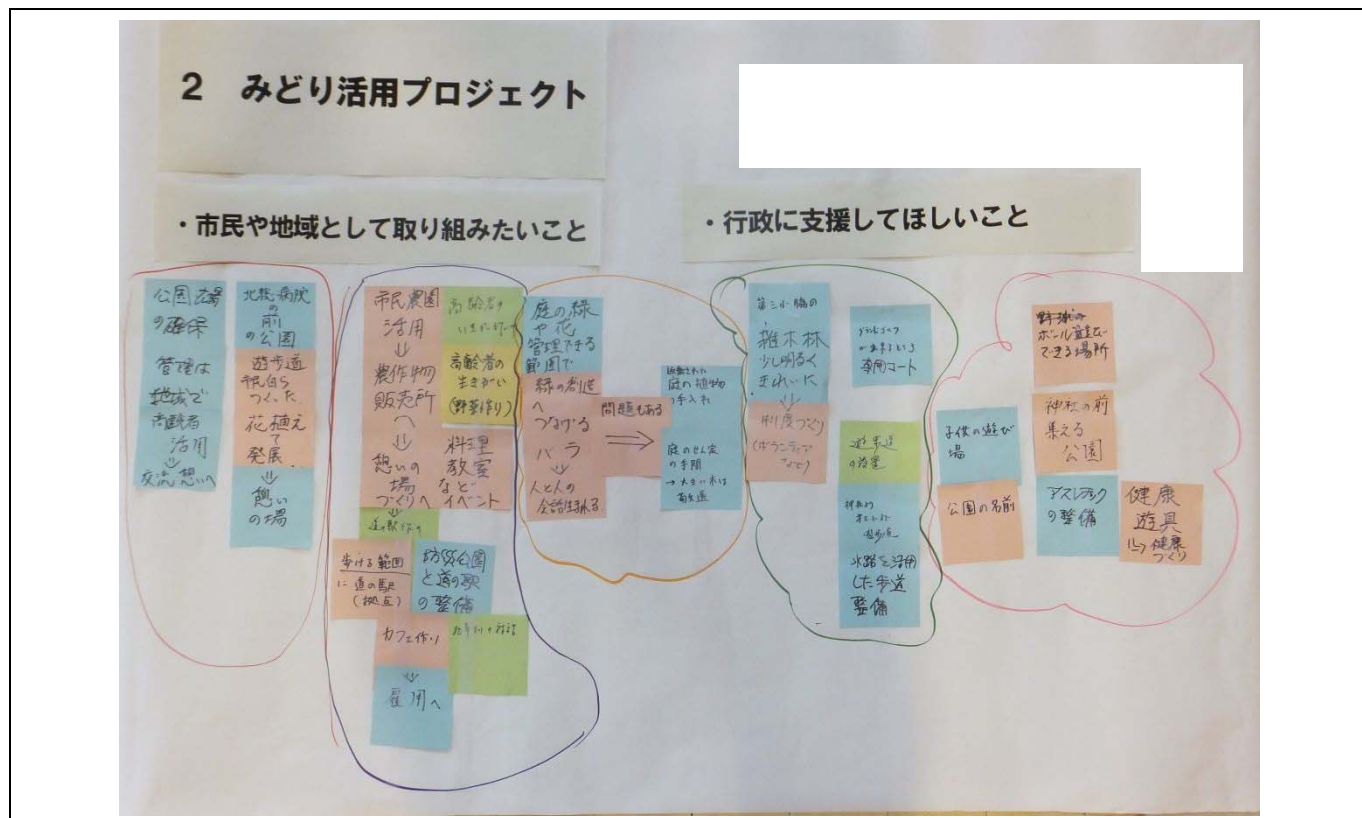


市民や地域として取り組みたいこと	行政に支援してほしいこと
【空き家・空き地対策】 ○若い人が購入できる価格の家づくり ○新築安い白井で中古の魅力は？ ○中古はさらに安くなる工夫 ○費用を抑えたリフォーム ○市が不動産仲介 ○空き家で福祉サービス ○一階は介護施設で二階は中学校で子供がいなくなったら介護施設 ○空き地の活用⇒家庭菜園等 ○水やり用水道を整備 ○空き家を新しくして行政がホームページで紹介 ○情報発信の強化 ○転入を考える人は口コミを重視する ○農業体験の出来る市！！（食育教育） ○シルバー人材の活用 ○シルバー人材の登録料をなくして欲しい	【知名度を上げる】 ○全国へ白井CM 的アピールをしていく！！ ○他を圧倒する規模のお祭りを一つ作る ○祭りを1つに！！色んな地域で「何日から何日まで白井祭りです！！」みたいな ○魅力あるイベント作り ○参加者も作り手の充実感を味わえるイベント ○作る側の楽しみのあるイベント作り ○子育て世代が楽しめる行事が多い事をPRする ○高校生が参加したくなる企画をする ○若い世代がイベントへ手伝い、アイディア出し 【安心して子育て出来る相談体制】 ○電話よりも対面で子育て相談 ○徒歩圏内に相談所 ○コンビニの中で介護や子育てを相談できる人がいて欲しい ○定期的に家へ来てくれる方を希望 ○子供は神社で遊ぶ ○駄菓子屋に代わる子供のたまり場、コンビニ？ 【仕事と子育てを両立するサポート】 <乳幼児・保育> ○保育園の待機児童の解消 ○病院となりてに病児を預かる場所 ○病児（病後児）保育 <学童・保育、放課後> ○小学生を長く預かる場所（学童ホーム以外） ○放課後の見守りボランティアがいると良い ○登下校見守りを地域で ○駅までの通学、通勤路便利に ○スクールバスあると良い ○歩道の整備 <乳幼児、学童共通> ○ファミサポを広めていく ○ファミサポ提供会員を増やす
両方に関わるもの	
○地域の輪の大切さ	

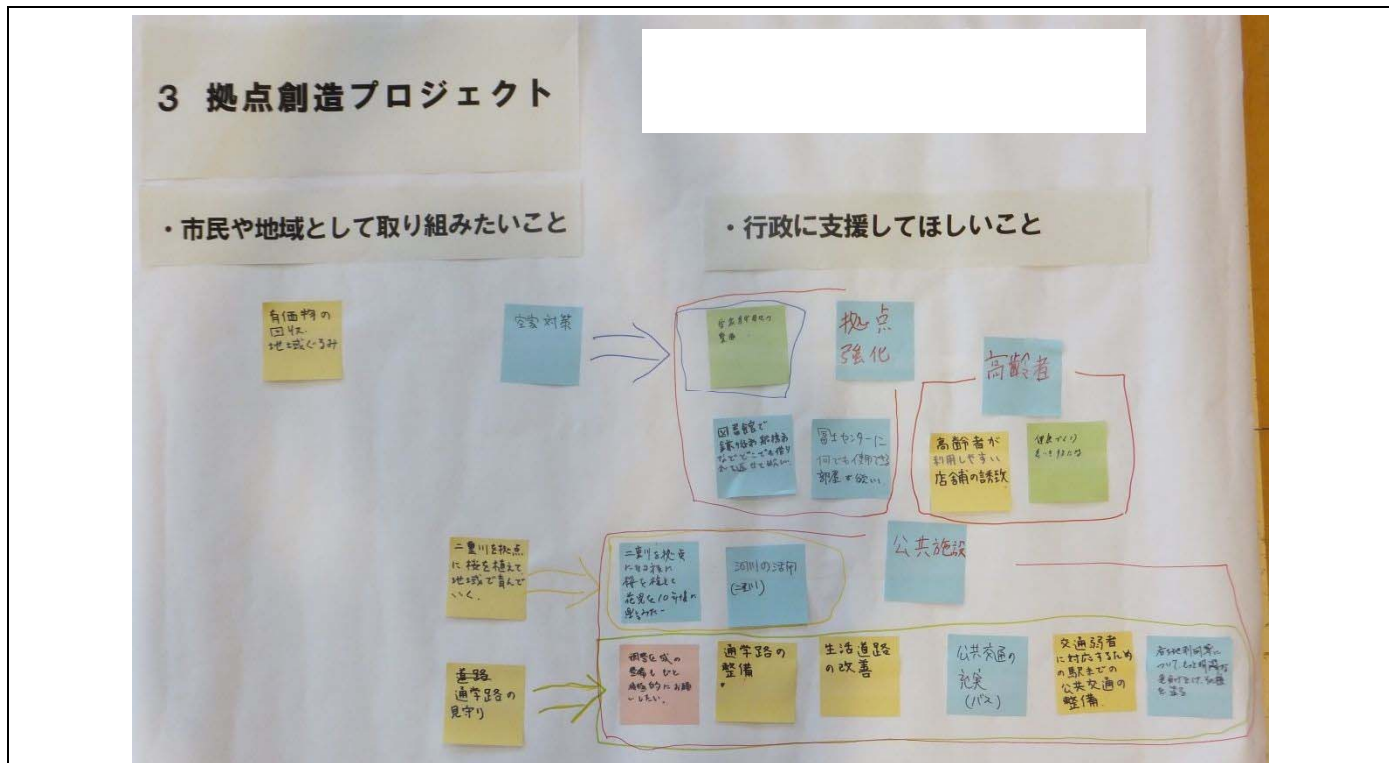


市民や地域として取り組みたいこと	行政に支援してほしいこと
【農家と住民のコミュニケーション】 ○農家と市民にコミュニケーションを ○農薬の安全性のアピール ○農家として共栄を ○住んでいる地域を良くしなければ、財産価値が下がる ○隣が住宅ないと農家にクレームがくる 【農地の活用】 ○食育、子供たちと農家のコミュニケーション 農家同士のコミュニケーションにつながる ○福祉農地（高齢者向け市民農園） ○児童遊園（学校） 【農家の活用】 ○農家が持っているトラックの活用 ○自治会の持っている物資の活用	【農家と住民のコミュニケーション】 ○営農しやすい開発をしてもらいたい ○飛散防止ネットに対する補助を ○密集地域に 【農地・農家の活用】 ○梨農家の持っている井戸の活用 ○防災井戸の提供 ○市として事前にシステムを農家と作る ○市が農家と車が使える協定を結ぶ ○防災につよいまちづくり⇒農地の活用 ○防災農地⇒避難場所として設定 ○避難場所が被災した時の代替場所の確保 ○農地を貸してくれる農家の紹介 【その他】 ○行政指導で農地放棄を防ぐ ○少し離れた行政の姉妹都市 ○神崎川の安全対策を優先

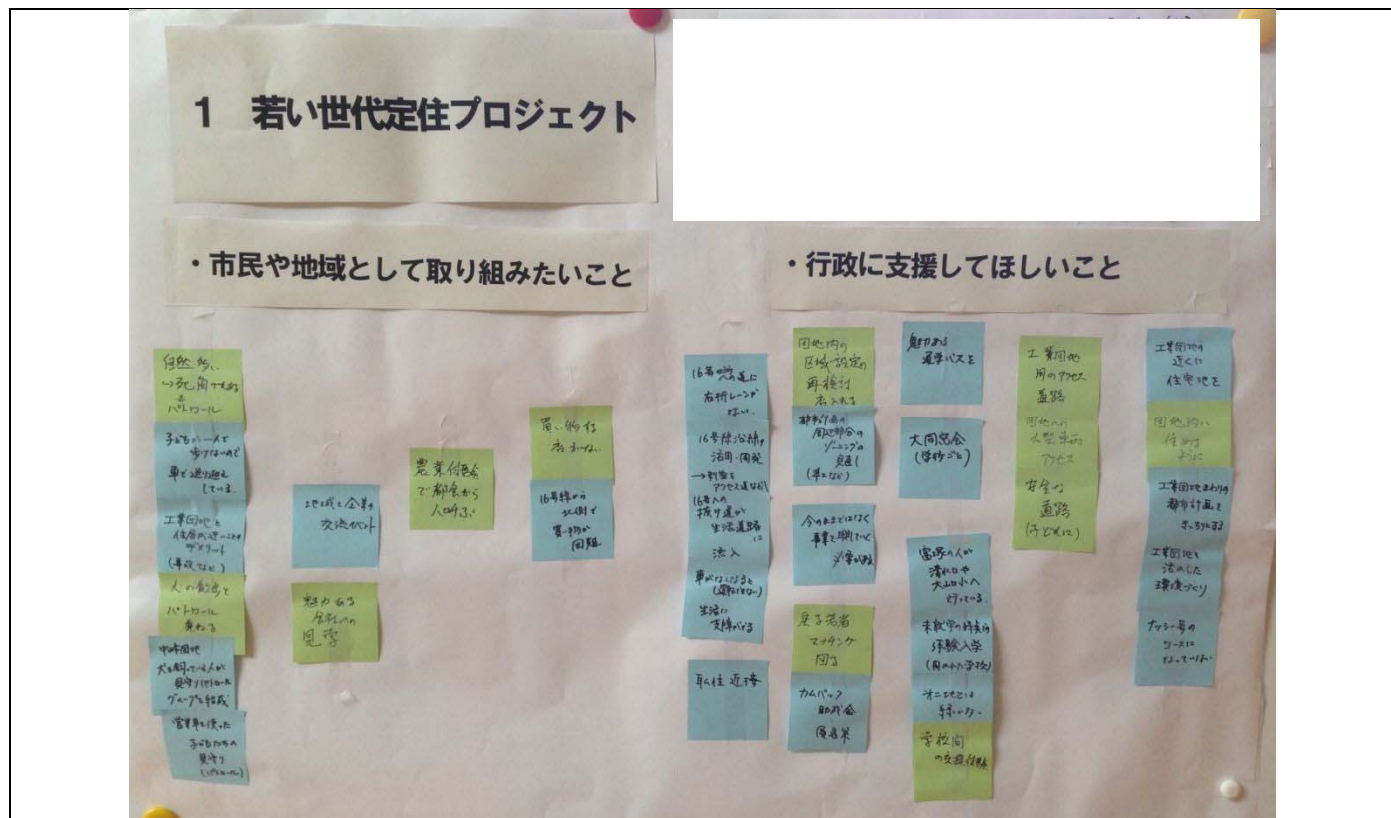
みどり活用プロジェクト（グループ 2_2）



市民や地域として取り組みたいこと	行政に支援してほしいこと
○公園・広場の確保 ○管理は地域で ○高齢者活用⇒交流、憩いへ ○北総病院の前の公園 ○遊歩道、市民自ら作った ○花植えて発展⇒憩いの場 ○市民農園の活用（高齢者のいきがいづくり） 高齢者の生きがい（野菜作り） ↓ 農作物販売所へ ↓ 憩いの場づくり（料理教室などイベント） ↓ 道の駅づくり ○歩ける範囲に道の駅（拠点） ○防災公園と道の駅の整備 ○カフェ作り⇒雇用へ ○お年寄りの対話 ○庭の緑や花、管理できる範囲で ⇒緑の創造につなげる ○バラ⇒人と人の会話生まれる ※問題もある ○放棄された庭の手入れ ○庭の剪定の手入れ⇒大きい木は敬遠	○第三小脇の雑木林、もう少し明るく綺麗に ⇒制度作り（ボランティアなどで） ○グランドゴルフが出来るところ（専用コート） ○遊歩道の設置 ○神社より第三小まで遊歩道 ○水路を活用した歩道整備 ○子供の遊び場 ○公園の名前 ○ボール遊び出来る場所 ○神社の前集える公園 ○アスレチックの整備 ○健康遊具⇒健康づくり



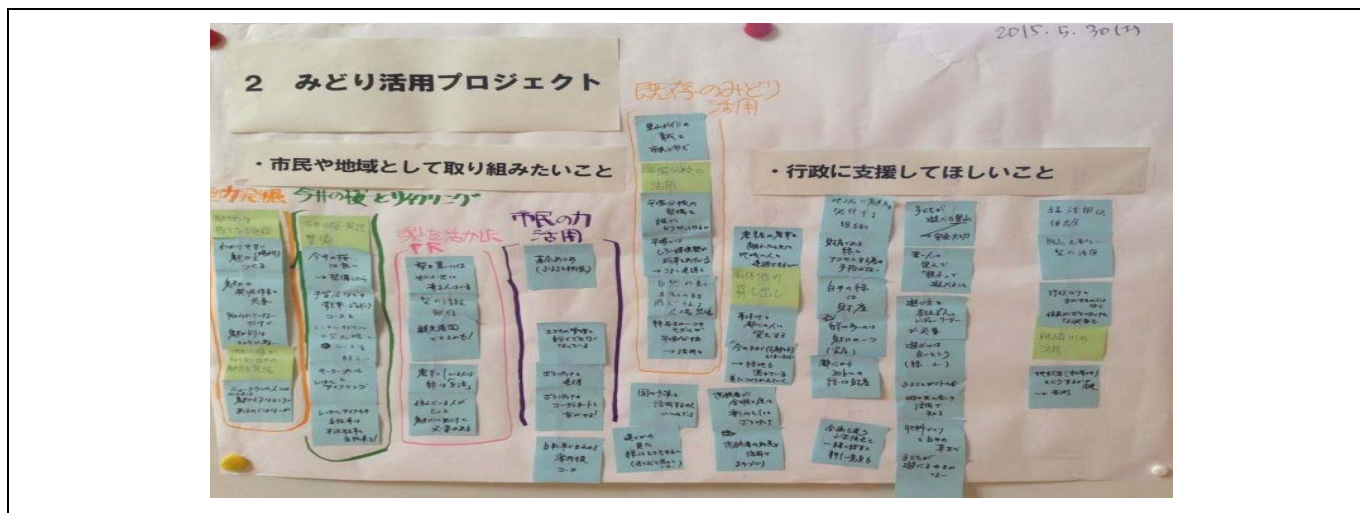
市民や地域として取り組みたいこと	行政に支援してほしいこと
○有価物の回収、地域ぐるみ ○空き家対策 ○二重川を拠点に桜を植えて地域で育んで行く ○通学路の見守り	【拠点強化】 ○空き家住宅周辺の整備 ○図書館で鎌ヶ谷市、船橋市などどこでも借りられて返せるようにして欲しい ○富士センターに何でも使用できる部屋が欲しい 【高齢者】 ○高齢者が利用しやすい店舗の誘致 ○健康づくり、長生きするには 【公共施設】 ○二重川を拠点になる様に桜を植えて、花見を10年後に楽しみたい ○河川の活用（二重川） ○調整区域の整備もっと積極的にお願いしたい ○通学路の整備 ○生活道路の改善 ○公共交通の充実（バス） ○交通弱者に対応するための駅までの公共交通の整備 ○各土地利用等についてもっと明確な色分けをしてその核をやる



市民や地域として取り組みたいこと	行政に支援してほしいこと
○自然多い⇒死角でもある⇒パトロール ○子供が一人で歩けないので車で送り迎えしてる ○工業団地と住居が近いことのデメリット（事故など） ○犬の散歩とパトロール ○中峠団地、犬を飼ってる人が見守りパトロールグループを結成 ○営業車を使った子供たちの見守り（パトロール） ○地域と企業の交流イベント ○魅力ある会社への見学 ○農業体験で都会から人を呼ぶ ○買物する店がない ○16 号線から北側で買い物が困難	○16 号への道に右折レーンが無い ○16 号線沿線の活用、開発⇒利益をアクセス道などへ ○16 号への抜け道が生活道路に流入 ○車がなくなると（運転できない）生活に支障がでる ○職住近接 ○団地内の区域設定の再検討、店を入れる ○都市計画の周辺部分のゾーニング見直し（準工など） ○今のままではなく事業を興していく必要がある ○戻る若者マッチングを図る ○カムバック助成金、優遇策 ○魅力ある通学バスを ○大同窓会（学校ごと） ○富塚の子供が清水口や大山口小へ行っている ○未就学の時点での体験入学（開かれた学校） ○第二地区は緑が多い ○学校間の交換体験 ○工業団地用のアクセス道路 ○団地への大型車両アクセス ○安全な道路（子供に） ○工業団地の近くに住宅地を ○団地内に住めるように ○工業団地周りの都市計画をきっちりとする ○工業団地を活かした環境作り ○ナッシー号のコースになっていない

2015年5月30日：公民センター（白井第二小学校区）

みどり活用プロジェクト（グループ2）



市民や地域として取り組みたいこと	行政に支援してほしいこと
【魅力発掘】 ○魅力的な核となる施設 ○分かりやすい（場所）魅力をつくる ○魅力の発掘作業が必要 ○知られていないだけで魅力的なところが多い ○地元住民しか知らない白井の魅力を発信 ○ニュータウンの人には二小区は魅力的なところがあるのではないかと 【今井の桜とサイクリング】 ○今井の桜周辺整備 ○今井の桜は良い⇒整備したら ○手賀沼などの散策、ジョギングコースを ○レンタサイクルの貸出場でルートを結ぶ ○モータープールとレンタサイクリング ○レンタサイクルの自転車は不法駐車の自転車を！ 【梨を活かしたPR】 ○梨を買いには第二小区に来る人はいる ○梨の情報発信 ○観光農園出来るかも！ ○農業をしている人にとって緑は「生活」 ○住んでいる人がもっと魅力に気づく必要がある 【市民の力活用】 ○募金あつめ（ふるさと納税） ○土地の管理を自分でできなくなっている ○ボランティアと連携 ○ボランティアコーディネートを市がやる！ ○自転車で回れる案内板、コース 【既存のみどり活用】 ○里山ガイドの育成を市民と市で ○平塚分校の活用 ○平塚分校の整備を誰がどうやってやるか ○平塚ではしろい環境塾が成果をあげている⇒うまく連携を ○自然の良さをありのまま感じられる広場整備 ○緑再生の一つのモデルが平塚分校⇒活用を	○農業者が農業を離れた時に地域の人と連携出来るといい ○有休地の貸出 ○有休地を都心の人に貸出する ○今のままでは魅力的とはいえない⇒緑地も荒れている、美しく作り変えていく ○地域の魅力を発信する組織 ○財産であるみどりにアクセスするための手段がない ○白井のみどりは財産 ○緑が多いのは魅力の一つ（資産） ○都心から 30 kmの緑は財産 ○子供が遊べる里山⇒安全大切 ○若い人は里山で「親子」で遊べること ○遊び方を教える「人」レンジャー、リーダーが必要 ○遊ぶには良いところ（緑、山） ○ふるさとガイドの会、郷土史の会の活用で知る ○肥料づくりを白井の草木で ○子供が遊べる山がない ○緑活用した体験 ○販売できない梨の活用 ○行政だけに任せるのではなく、住民がボランティアとなる必要も ○一級河川神崎川の活用 ○地権者（私有地）をどうするかが鍵⇒条例
両方に関係のあるもの	
○会議も違う小学校区と一緒に話すと新しい意見も ○高齢者が全暇を使って楽しみとしてのボランティア ○高齢者の知恵の活用でまちづくり ○国の予算を活用するのもいいのでは ○遠くから見た緑はとてもきれい（近くだと荒れている？）	

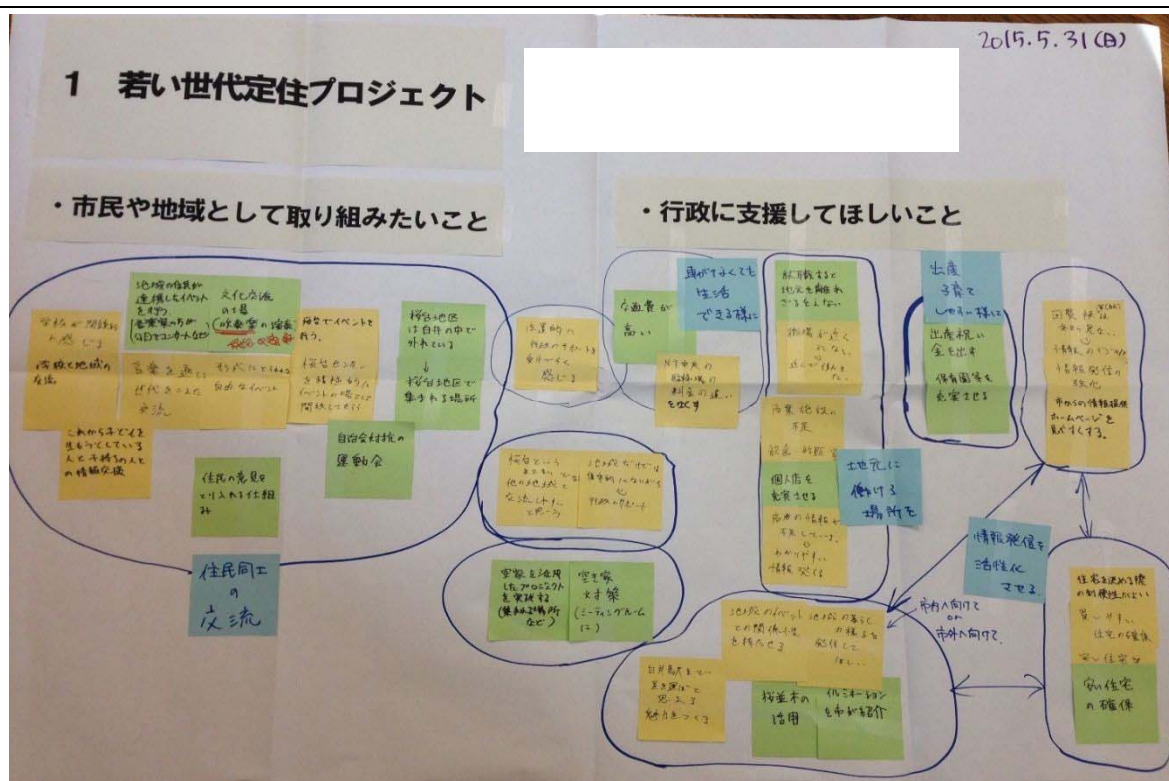
2015年5月30日：公民センター（白井第二小学校区）

地域創造プロジェクト（グループ3）

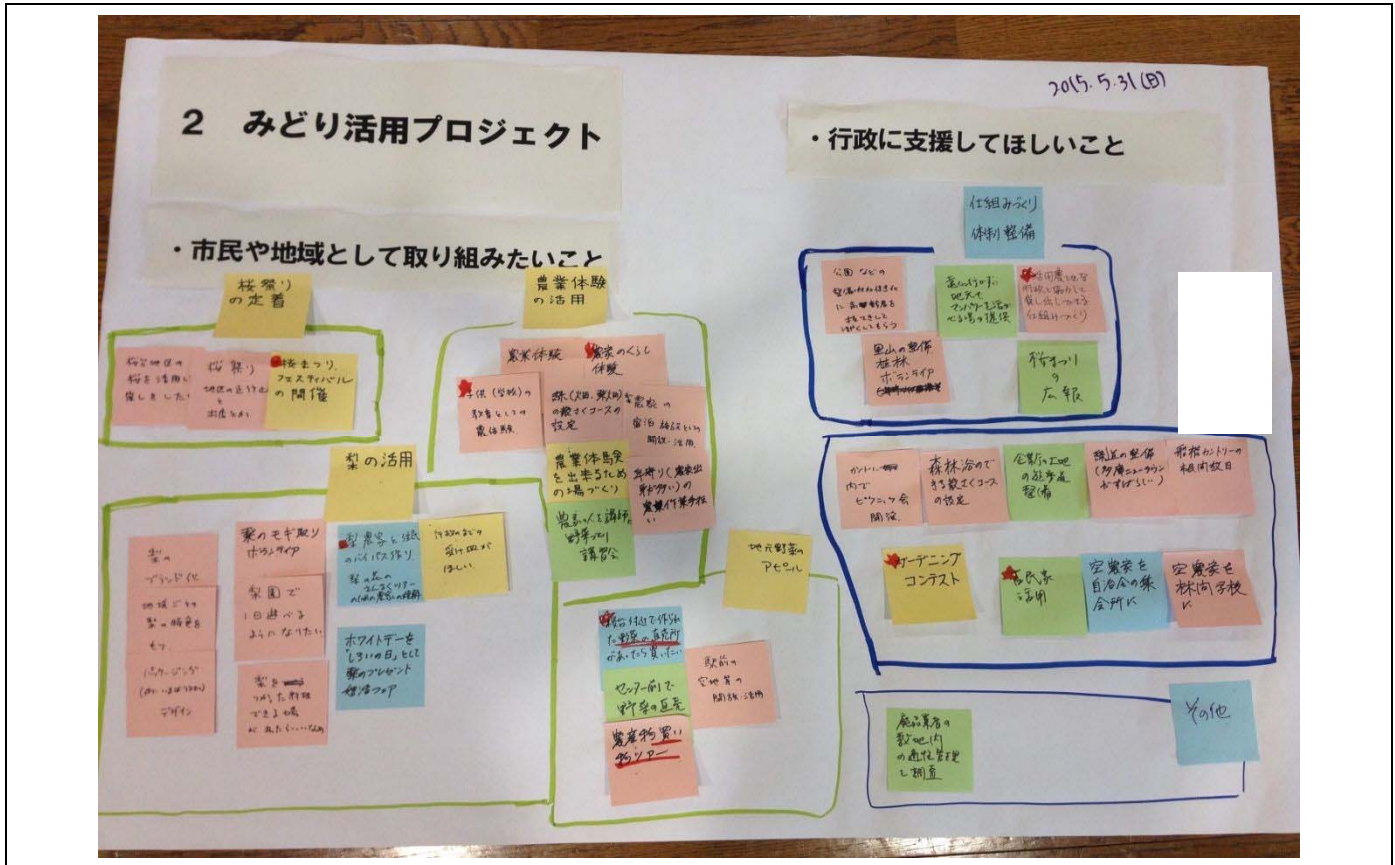


市民や地域として取り組みたいこと	行政に支援してほしいこと
【工業団地魅力向上】 ○工業団地の素晴らしい技術をPRする拠点を ○スカイツリーの部品 ○ペースメーカー ○精密機器世界に冠たる ○鉄のかたまりに興味あるのか ○会社が地域の方にPRする定期的にイベントを ○教育としての工業探知のPRの場所 ○工業団地の魅力の子供たちに伝え、興味をもてるようにする ○地域の人と工業団地のつながりを ○地域に開かれる工業団地 ○モノづくり講座、発明講座 ○地域の人たちで地元企業事業者がコミュニケーションを取る場をつくるのが大切 ○見学するための設備が工場にはない ○ローソンの2階を工業団地の資料館に	【安心安全アピール】 ○白井の人は安心・安全を持って生活している ○「安心・安全」を体験できるようアピールする ○安心・安全をアピール ○安心・安全なまち ○白井の魅力をアピール ○梨のPR情報発信基地へ ○梨をつくるまで一連の流れを勉強できるように 【話し合い交流拠点】 ○地域の課題、みんなで話し合える場 ○白井の全ての地区の住民が集まり、一つのテーマで話し合える拠点（定期的に行う） ○ミーティングの定例化、テーマ絞り ○他地区と一緒に話し合える場 ○話し合いを出来る場所、いつも色々な人の集まり議論出来る場 ○NTと在来との連携、小さな成功経験 ○地域で何か問題があった時、そこで話し合える場所が必要 ○話し合いの拠点 ○住民で協力して地域の課題に取り組めるようにする（道路拡幅など） ○たまにやるのではなく、定例的に市民が話し合える環境を 【梨PR】 ○梨レシピ募集 ○なし通り、やおやパーク ○梨、加工食品 ○梨情報発信 【その他】 ○外から入りやすい道路 ○しくみづくりが大切 ○皆が話し合いをする環境と仕組み ○小さな一歩を出来るまでやる ⇒次につながるみんなで喜ぶこと ○小さな成功体験を住民自身が積み重ねて行く形でまちづくりを進めていくことが大切 ○小さなことでも良いから、実現可能なことから始めて、徐々に広げながら夢を実現していく進め方が良いと思う
両方に関係のあるもの	
○基本構想のまとめには夢「も」なくてはなだめ ○拠点とその拠点へのアプローチはスピード感をもって実施していく	

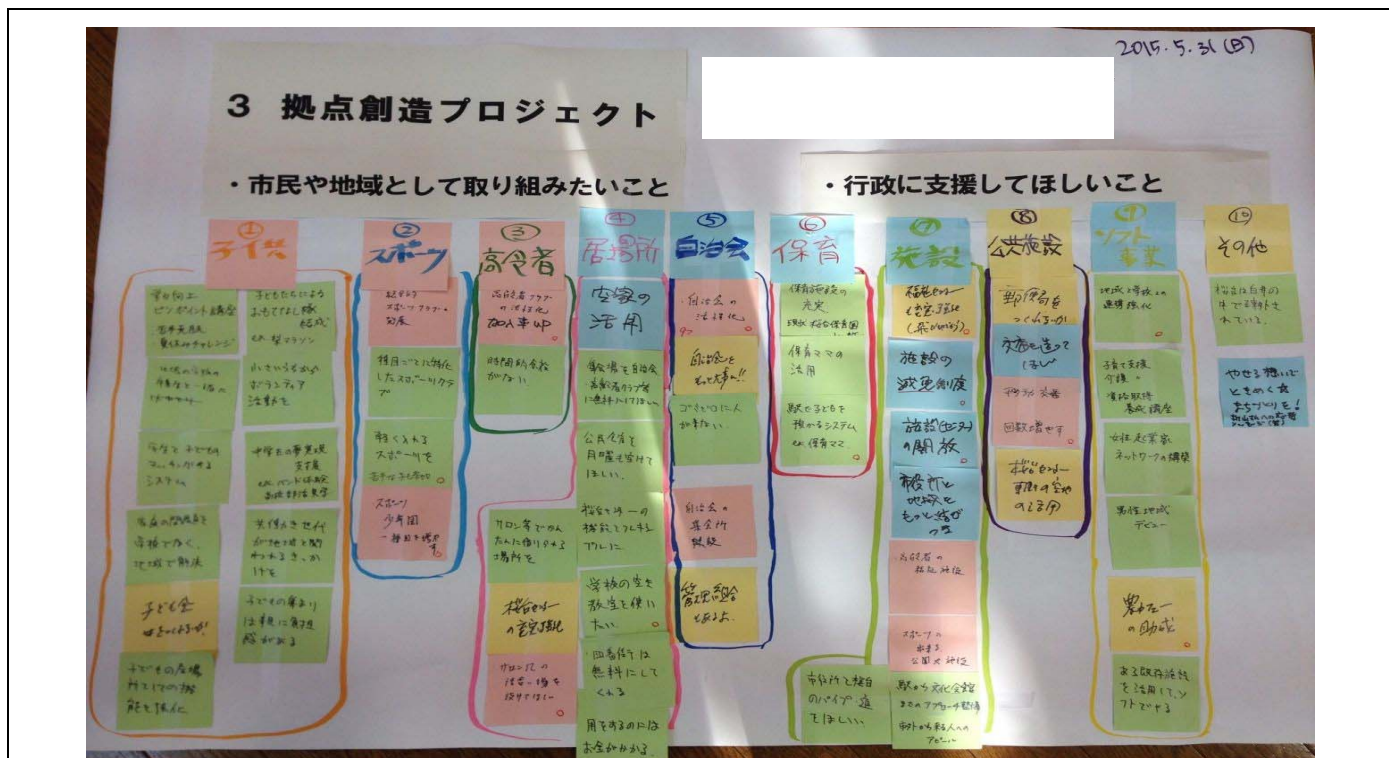
若い世代定住プロジェクト（グループ 1）



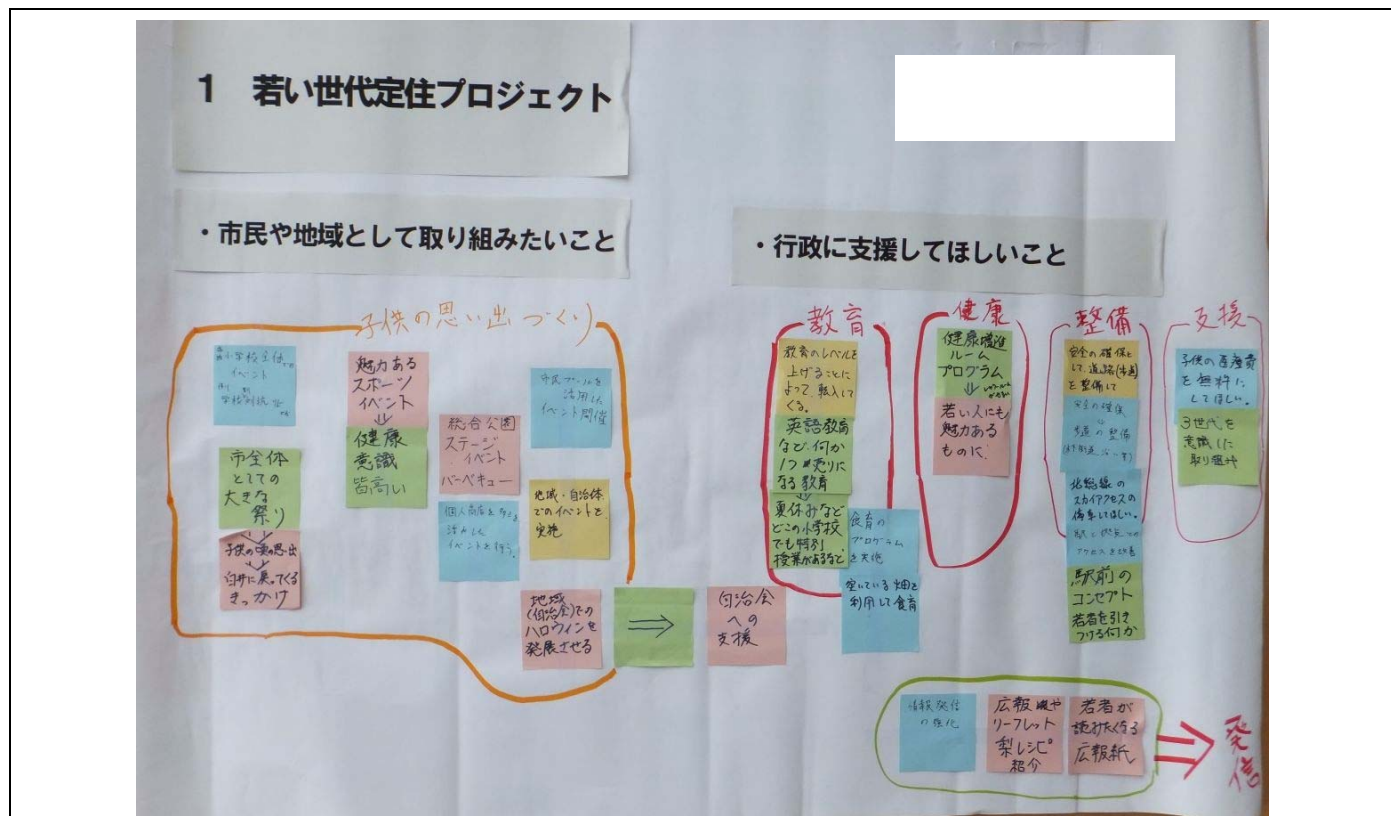
市民や地域として取り組みたいこと	行政に支援して欲しいこと
【住民同士の交流】 ○文化交流の場（桜台中学校の吹奏楽演奏） ○地域住民が連携したイベントを行う（音楽家の方が公園でコンサートなど） ○音楽を通じて世代を超えた交流 ○形式にとらわれない自由なイベント ○桜台でイベントを行う ○桜台センターを積極的にイベントの場として開放 ○学校が開放的に感じる ○地域と学校の交流 ○これから子供を産もうとしている人と、子持ちの人との情報交流 ○自治会対抗の運動会 ○住民の意見を取り入れる仕組み 【その他課題など】 ○桜台地区は白井の中で外れている ⇒桜台地区で集まれる場所が必要	【車が無くても生活できるように】 ○交通費が高い ○NT 中央の駐輪場の料金の違いをなくす 【地元に働ける場所を】 ○就職すると地元を離れざるを得ない ○職場が近くにない⇒近くで働きたい ○商業施設の不足（飲食、物販など） ○個人店を充実させる ○商店の情報が不足している⇒わかりやすい情報発信 【出産子育てしやすいように】 ○出産祝い金を出す ○保育園などを充実させる 【情報発信を活発化させる】 ○回覧板など紙媒体はあまり見ない⇒情報のデジタル化、情報発信の強化 ○市からの情報提供を HP など見やすくする ○住宅を決める際の利便性が良いところ ○買いやすい住宅の確保／○安い住宅の確保 ○地域の暮らしの様子を発信して欲しい（市内へ向けて or 市外に向けて） ○イルミネーションを市が紹介 ○地域イベントとの関連性を持たせる ○桜並木の活用 ○白井駅まで足を運ぼうと思える魅力をつくる
両方に関係するもの	
○位置的に行政のサポートを受けづらく感じる ○桜台というまとまりでない方が、他の地域と交流しやすいと思う ○地域だけでは保守的になりがち⇒行政サポートが必要 ○空き家対策（ミーティングルームに） ○空き家を活用したプロジェクトを実践する（集まれる場所など）	



市民や地域として取り組みたいこと	行政に支援してほしいこと
【桜祭りの定着】 ○桜祭りフェスティバルの開催 ○桜祭り（地区の通行止めとか出店とか） ○桜台地区の桜を活用した催しをしたい 【農業体験の活用】 ○農家の暮らし体験 ○子供（学校）の教育としての農体験 ○農業体験 ○緑（畑、梨園）の散策コースの設定 ○梨農家の宿泊施設としての開放、活用 ○農業体験を出来るための場づくり ○年寄り（農家出身者）の農作業手伝い ○農家の人を講師に野菜作り講習会 【梨の活用】 ○梨農家と住民のバイパス作り（梨の花の散策ツアーなど農家の人の理解も必要） ○梨もぎ取りボランティア ○梨園で一日遊べるようになりたい ○梨を使った料理出来る場があったらいい ○梨のブランド化 ○地域ごとの梨の特色を持つ ○パッケージングデザイン（今治タオルなど） ○ホワイトデーを「しろいの日」として、梨のプレゼント婚活フェア ○行政での受け皿がほしい 【地元野菜のアピール】 ○桜台付近で作られた野菜の直売所があったら買いたい ○センター前で野菜の直売、駅前空地の開放・活用 ○農産物買物ツアー	【仕組みづくり、体制整備】 ○不活用農地を行政と協力して活用できる仕組み作り ○桜祭りの広報 ○遠くに行かずに地元でマンパワーを活かせる場の提供 ○公園などの整備・付加価値化に高齢者を抜擢して活躍してもらう ○里山の整備、植林ボランティア ○ガーデニングコンテスト ○古民家活用 ○空農家を自治会の集会所に ○空農家を林間学校の場に ○船橋カントリーの市民開放日 ○船橋カントリー内でピクニック開催 ○森林浴の出来る散策コースの設定 ○企業庁の土地の遊歩道整備 ○緑道整備（多摩ニュータウンが素晴らしい） 【その他】 ○廃品業者の敷地内の適正管理を調査



市民や地域として取り組みたいこと	行政に支援してほしいこと
【子供】 ○学力向上ピンポイント講座（苦手克服、夏休みチャレンジなど） ○子供たちによるおもてなし隊結成（梨マラソン） ○小さいうちからボランティア活動を ○地域の学校の卒業生と一緒に ○中学生の夢実現支援（バンド体験、高校部活見学） ○学生と子供のマッチングするシステム ○家庭の問題を学校でなく地域で解決 ○共働き世代が地域と関わるきっかけを ○子供の会場としての機能を強化 ○子供会をつくれるか ○子供の集まりは親に負担感がある 【スポーツ】 ○総合的スポーツクラブの発展 ○種目ごとに特化したスポーツクラブ ○苦手な子供も参加できる軽く入れるスポーツを ○スポーツ少年団（一種目を増やす） 【高齢者】 ○高齢者クラブの活性化、加入率アップ ○時間的余裕が無い 【居場所】 ○空き家の活用 ○集会所を自治会、高齢者クラブなど無料にして欲しい（四番街は無料） ○公民館を月曜日も開けて欲しい ○学校の空き教室を使いたい ○サロン風の活合い場を設けて欲しい ○桜台センターの機能強化、フレキシブルに ○サロンなどで簡単に借りられる場所を	【自治会】 ○自治会の活性化、自治会をもっと大事に！！ ○ゴミゼロに人が来ない ○自治会集会所の設置 ○管理組合もある 【保育】 ○保育施設の充実 ○車で子供を預かるシステム⇒保育ママ活用など 【施設】 ○福祉センターも充実、強化（飛び地ばかり） ○施設（センター）の減免制度、解放 ○市役所と地域がもっと結びつきを持てるように ○高齢者の福祉施設 ○スポーツの出来る公園や施設 ○市役所と桜台のパイプ、道が欲しい ○駅から文化会館までのアプローチ整備 ○市街から来る人へのアピール 【公共施設】 ○郵便局を作れないか ○交番を作って欲しい⇒移動交番の回数を増やす ○桜台センター東側の空地活用 【ソフト事業】 ○地域と学校の連携強化 ○子育て、介護支援、資格取得養成講座 ○女性起業家ネットワークの構築 ○男性地域デビュー ○農カフェの助成 ○既存施設のソフト面強化の活用 【その他】 ○桜台は白井の中で疎外されている ○やせる想いでときめく☆まちづくりを！



市民や地域として取り組みたいこと	行政に支援してほしいこと
【子供の思い出づくり】 ○市内小学校全体でのイベント 例) 学校別対抗リレーとか ○市全体としての大きな祭り ⇒子供の頃の思い出⇒白井に戻ってくるきっかけ ○魅力あるスポーツイベント ⇒健康意識、皆高い ○総合公園ステージイベント、バーベキュー ○個人商店の多さを活かしたイベントを行う ○市民プールを活用したイベント開催 ○地域・自治体でのイベントを実施 ○地域（自治会）でのハロウィンを発展させる	【子供の思い出づくり】 ○自治会への支援 【教育】 ○教育のレベルを上げることによって転入してくる ○英語教育など何か一つ売りになる教育 ⇒夏休みなどこの小学校でも特別授業があるなど ○食育プログラムを実施 ○空いている畑を利用して食育 【健康】 ○健康増進ルームプログラム（シャワールームが狭い） ⇒若い人にも魅力あるものに 【整備】 ○安全の確保として道路（歩道）を整備して ○安全の確保⇒歩道の整備（木下街道沿いなど） ○北総線のスカイアクセスの停車してほしい ○駅と拠点とのアクセスを改善 ○駅前のコンセプト若者を引き付ける何か 【支援】 ○子供の医療費を無料にして欲しい ○3世代を意識した取り組み 【発信】 ○情報発信の強化 ○広報やリーフレット梨レシピ紹介 ○若者が読みたくなる広報誌

みどり活用プロジェクト（グループ2）



両方に関わること

〈視覚〉

【梨について】

- 緑が減っている
- 梨畑が減っている、急なスピードで
- 梨畑が住居とかになってしまう
- 相続ができない、後継者もいない
- 緑がたくさんあって良い場所だった

【現在の状況】

- 木が可哀相な切り方
- 桜を切ったあとに保護もしない、桜がダメになってしまう
- 景観を意識した切り方を
- 公園の木の切り方に違和感
- 池の上から駅に続く桜並木をばっさり切っちゃう
- 障害者施設の立地があまり良くない、カーブがいっぱいあるところ
- 会社を辞めて農家をやっている人がいる

【今井の桜】

- 今井の桜の保全
- 残したいと思う人がいる
- 用水路なのでちゃんと整備して欲しいという人がいる
- 生活する場にある桜があるから難しい

【課題】

- 住居と梨畑のバランスをとるのが難しい
- 住居のすぐ脇に梨畑がある
- 既にできている公園のお掃除などを市民として行う
- 在来は場所があるので処理場とか解体屋、ヤードもきちゃう
- 工業団地にまとまってやってほしい
- 在来の方は文句をあまり言えない
- 土地の価格が違うから来ちゃう
- 在来の人とNTの人がちゃんとコミュニケーションが取れる場を

【将来】

- 梨の花は景観の一つ、きれい
- 梨の花を活かして人を呼ぶ
- みどりファンドを作って景観に使っていく
- 何をするためにきちんと決める
- 千葉ニュータウン駅前の花はファンドでやっている

【人がみどりを作る】

- 花を植えるだけでなく、手入れも必要になる
- お金や体力が大変
- 花いっぱい運動⇒財政の負担になる
- 「花ポケット」白井駅前のプランターを綺麗にする
- 手入れをやっている団体があり、お金を出す人たちもいる
- センターの花は利用者や職員の実費でやっている
- 花の話題で市民のコミュニケーションが出来る

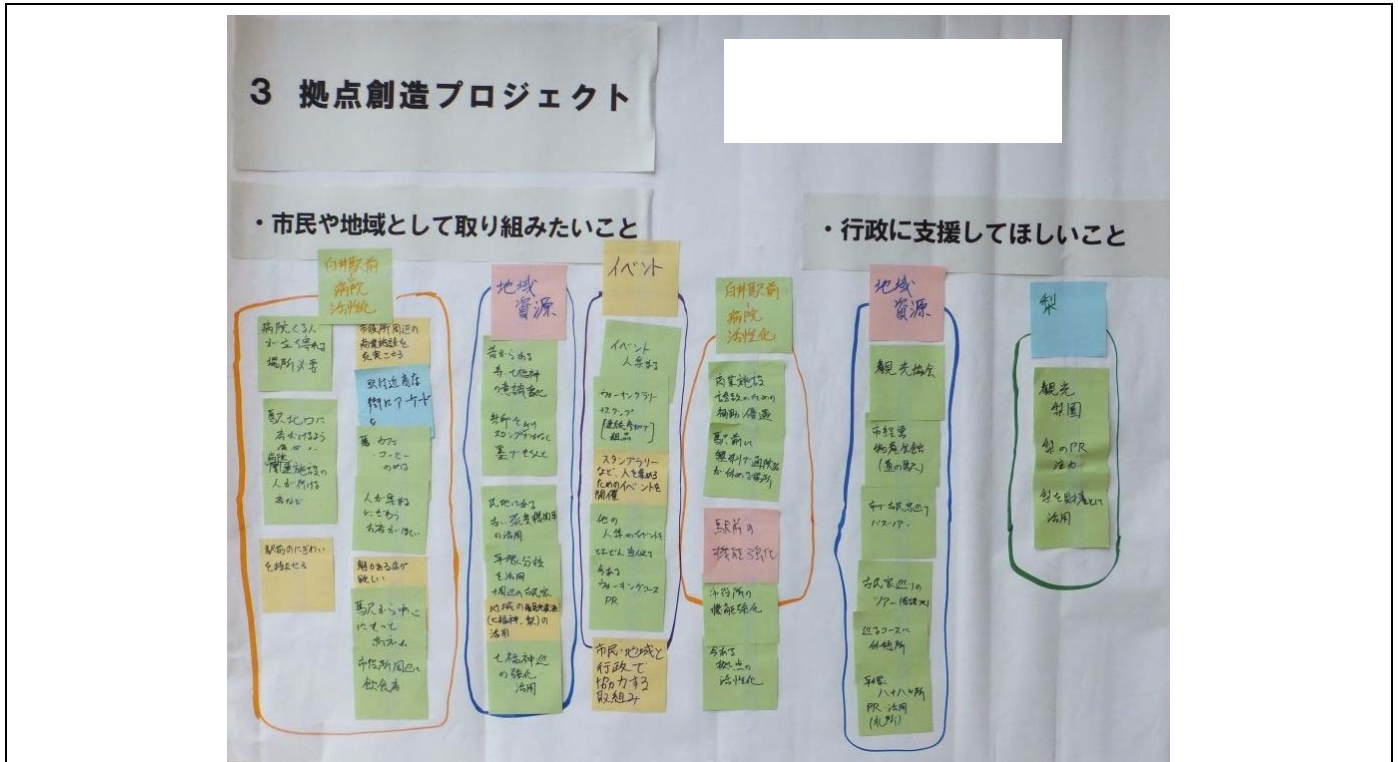
〈味覚〉

【梨について】

- 梨狩りがない
- 取手のイオンでは筑西の梨が推されている
- 市民の人がPRしてくれるのが大きい
- 人が入るのを農家がいやがる。木がダメになる
- 白井の梨は食べておいしいから有名になった
- NTの人が送ってくれるから全国に知られる

【農家をめぐり散歩コース】

- 農家の子供は後を継がない。農家を知っていると大変さを知っている。知らない方がずっと入れる
- お見合いは農家の跡取り
- ⇒守りの生活をしている
- いい果物、野菜をどう届けるか
- 注目のトマト⇒SEIYUに卸している
- 農家をめぐり遊歩道を作る
- ⇒集落の前じゃなく、一步入った所
- 無人販売だとチェックする人がいない
- 直売所の盗難防止



市民や地域として取り組みたいこと	行政に支援してほしいこと
【白井駅前病院活性化】 ○病院来る人が立ち寄れる場所を ○駅北口にお店をおけるよう優遇する（誘致） ○病院関連施設の人が行ける店など ○駅前のにぎわいを持たせる ○市役所周辺の商業施設を充実させる ○駅付近商店街にアーケードを ○カフェ、コーヒー飲める ○人が集まる、にぎわうお店がほしい ○魅力ある店がほしい ○駅から中心にもっと商店を ○市役所周辺に飲食店 【地域資源】 ○昔からある寺、七福神の意識変化 ○朱印をスタンプだけでなく墨できちんと ○民地にある古い蒸気機関車の活用 ○平塚分校を活用+周辺の古民家 ○地域の観光資源（七福神、梨）の活用 ○七福神巡の強化、活用 【イベント】 ○イベント人集まる ○ウォーキングラリー+スタンプ（連続参加で粗品） ○スタンプラリーなど、人を集めるためのイベントを開催 ○他の人集のイベントをどんどん真似る ○今あるウォーキングコース PR ○市民、地域と行政で協力する仕組み	【白井駅前病院活性化】 ○商業施設誘致のための補助・優遇 ○駅前に無料で通院者が休める場所 ○駅前の機能強化 ○市役所の機能強化 ○今ある拠点の活性化 【地域資源】 ○観光協会 ○市経営物産会館（道の駅） ○市で古民家巡りツアー ○古民家巡りのツアー（昔語りも） ○巡るコースに休憩所 ○平塚八十八ヶ所⇒PR 活用（札所） 【梨】 ○観光梨園 ○梨の PR 注力 ○梨を財産として活用